京城日報

九日夕刊

定價 本紙一部金二錢 一ヶ月金五十錢 三ヶ月金一圓四十五錢 六ヶ月金二圓八十錢 一年金五圓五十錢 郵稅 一ヶ月二十錢
廣告料 五號活字一行金四十錢
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 編輯 營業

時間表 （行南） （行北） 線

◎戰時委員會組織決定

陸徴祥氏會長たらん

五日內閣會議を開き政府は宣戰後執るべき手段を評議し且つ各省大臣次官及び參事官により組織さるべき戰時委員會の形式を決定せり近日政府顧問に任命されたる前外交總長陸徴祥氏は該委員會長たるべしと（北京特電）

◎敵國人處置略決定

閣議の結果により在支獨逸人の處置は日本の先例に倣ひ先づ獨亞銀行を處分し資金の性質を調査して沒收又は保管すべく獨逸の裁判權に關する一項は尙未定なり（北京特電）

◎四川鎭定軍の策戰

四川鎭定に向へる吳光新氏は三箇師團半の兵を率ゐて岳州に入り周道剛氏を援けて雲南軍を四川省より撤退せしむべし（北京電報）

◎復辟關係者起訴さる

天津檢察官は復辟關係者として朱家寶等十三名を起訴せり（北京電報）

◎對露講和申込

墺國及土耳古より

瑞西よりの報道に據れば墺國及び土耳古は露國に對し講和の申込みをなしたるが殊に土耳古は正式に提議せりと（紐育電報）

◎米國官憲の講和觀

今週中に獨逸より提議か

華盛頓官憲の間には今週中に獨逸より平和の提議ある可しと信ぜられつゝあり（桑港電報）

◎瑞西の獨逸借欵拒絶

獨逸が從來瑞西に石炭を供給せる報酬として獨逸は此の際瑞西に對する借欵に應ぜんことを求めたるが瑞西は之を拒絶したり（桑港電報）

◎獨紙新內閣に不滿

獨逸諸新聞紙はミハエリス博士の新內閣に對し不滿を唱へつゝあり（倫敦電報）

◎リベリヤ對獨斷交

南阿弗利加リベリヤ共和國は獨逸に對して宣戰を布告したり（桑港電報）

◎增師說は無根

最近專ら陸軍二箇師團增設說を傳ふるものあるも右は無根の虛報なりと（東京電報）

◎滿鐵登記濟

滿鐵會社に於ける兩鐵道統一に伴ふ諸般事項は八日東京に於て登記濟となれり（東京電報）

◎軍人救護課新設

內務省內に軍人救護課設置さるべし（東京電報）

◎總督大阪通過

長谷川朝鮮總督八日午後八時三十分大阪通過、歸朝の途に就けり（大阪特電）

◎海運界新記錄

久原氏の日本汽船會社が大阪鐵工所へ注文せし來年度渡し造船七隻（一噸七百圓合計四千二百萬圓）は勝田銀次郎氏が購入する事となり七日夜手附金（全額の二割）八百四十萬圓を引渡せし由なるが是れ海運界の新記錄なり（大阪特電）

◎總督歸著期

八日午前八時三十分東京驛發直行歸任の途中なる長谷川總督一行は十日夜臨時列車にて釜山發十一日早朝南大門驛著歸京さるゝ由

◎政務總監別宴

山縣政務總監は豫報の如く九日午後七時より朝鮮ホテルに於て秋山大將、白水中將の送別宴を張り立花師團長、各部長官芳賀院長李王職長官次官、總督府官房局課長等列席したり

◎辭令

遞信技師 塚越 禮藏
大阪市出張を命す（八日附）
總督府技師 岩井長三郎
追加豫算施行に關する朱安專賣課出張所建物設計調査の爲め出張を命す

◎憲兵將校異動

八月六日附にて左の通り憲兵將校の異動發表せらる

補久留米憲兵隊分隊長 金泉憲兵分隊長 陸軍憲兵大尉 田上 良雄
補旭川憲兵分隊長 [illegible]憲兵分隊長 陸軍憲兵大尉 杉山 幹

◎鐵道收入好況

七月中に於ける鐵道營業成績を聞くに乘車人員は四十五萬三千人貨物噸數十五萬九千噸にして客車收入は四十四萬圓貨車收入は四十七萬八千圓合計九十一萬八千圓に達し之れを前年に比すれば二十七萬二千圓の激增を示し居れり尙ほ一日一哩平均收入は二十七圓七十八錢なりと前年より七圓七錢の增となり居れり

◎秋山大將師團訪問

新軍事參議官秋山大將は九日午前十時津副官を隨へ自動車を驅り第十九師團司令部を訪問し立花中將、岡本參謀長等に對し公式的告別の挨拶をなし同十時半辭去したり

◎古海總長釜山行

古海警務總長は十一日長谷川總督歸任釜山に上陸の豫定なるにより警護及び出迎のため九日午後七時五十分釜山行急行列車にて赤澤副官を隨へ同地へ出張すべし

◎持地長官歸期

嚴父逝去の爲め過日歸鄕せし遞信局長官持地六三郎氏は二週間の豫定なりし由にて多分來る十七八日頃迄に歸京すべしと

◎早川少將來期

第一師團參謀長より平壤旅團長に榮轉せし陸軍少將早川新太郎氏は十五六日頃迄に著任の筈にて前任者市川少將との事務引繼は龍山に於て行はるべし

◎芳賀院長歸京

去る四日京城出發木浦に避暑中なりし芳賀總督府醫院長は九日午前八時五十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎牧野博士入京期

滿鐵の招聘を受け滿洲各地に講演しつゝある東大法科教授法學博士牧野英一氏は來る十七八日頃入京すべしと

◎國澤理事長再來

急電により去る七日夜急遽歸任せる國澤滿鐵理事長は東上の途次十三日再び入京の旨或筋に通報ありたり

◎橫井局長南行

橫井京城管理局事務取扱は長谷川總督歸任を釜山に迎ふる爲め九日午後八時龍山驛を出發し十日夜釜山驛より總督と同車し十一日朝南大門驛著歸任する筈

◎橋本副事務官金剛山行

遞信局副事務官橋本鉄四郎氏は六日出發又復金剛山跋涉の途に就きたり

◎淸津保線長

滿鐵京管淸津出張所職員池神重政氏は淸津保線長兼務を命ぜられたり

◎朝鮮海運界夏枯

朝鮮沿海運界の近況を聞くに季節盛夏なるため西南北鮮共に荷動き振はず乘客亦少なく全く夏枯期を現出し居れり朝鮮の如き海運の貨物の大部分は農産物並に季節向の雜貨反物のみに止まり殆んど工業上の產物なき沿岸の夏期は荷動きの不活潑は當然なるものゝ如く九月に入らば多少の入荷等開始され若干の荷動き增加を見るべしと

◎北支航路再開

船繰の關係上今春來休航中なりし朝鮮郵船會社自營航路仁川、大連、靑島間の三角航路は八月二日より江原丸を就航せしめ八日一航海を終つて仁川に歸航したるが往復航共相當の貨客あり尤も仁川より大連靑島に到る貨物のみにては到底船腹を充塞する能はざるも山東省卑邊により大連發靑島行きの高粱其他の食料品あり又復航の貨物は山東劃を主とせりと

◎橫斷航路採算

自營にては不引合

淸津城津を經て八月一日夜元山港出航敦賀に赴き十日未明元山に入港すべき朝鮮郵船の日本海橫斷航路試航の貨客は乘客に於て往航は全然三等を乘船せしめず復航は數名の乘船を見たるのみにて問題とするに足らざれど貨物は生牛を主とし陶土其他にて往航は滿船復航亦五百噸に達せし試航位の貨物の收入の實際より見て今回の航行せしむる橫斷航路の採算は可能なるやと云ふに船價今日の如く高騰し又石炭其他の需要品二倍以上に騰しつゝある際とて尙ほ國家若くは地方廳の補助なき限り純自營にては引合はざる由更に日本海橫斷の定期船は三千噸級位の巨船ならざれば貨物は兎に角乘客は安堵して乘船せざる事情あり旁々橫斷航路の定期實現は今日の海運界現況より觀て前途近しと云ふ可からざるに似たりと

◎平壤丸の就航

日本海橫斷の試航をなせる朝鮮郵船會社船平壤丸は十日未明元山に入港し同夜出帆直ちに雄基に航行する由なるが十二日雄基發より雄基門司間の總督府命令航路に就航する由

◎秋山大將設宴

新任軍事參議官秋山大將は十二日午後七時より朝鮮ホテルに於て留別の意を兼ね晚餐會を催し總督府及び所屬官署の主なる人々並に各國領事民間有力者等を招待する由

◎白水中將張宴

八日午後七時より龍山偕行社に開きたる白水中將の留別宴には秋山大將、立花、古海兩中將、副將、趙東潤、李熙斗、趙性根、高橋、武官、廣瀨主計監、佐藤軍醫監、前田、盧澤、池內各大佐其他軍師團幕僚及び各部長等五十餘名出席し仲々の盛宴なりき

◎滿鐵理事長招宴

橫井京城管理局長は國澤理事長の代理として九日午後七時より淸華亭に於て饗宴を張り滿鮮鐵道統一事務に關係せる人々數十名を招待す

◎愛媛縣人祖道宴

秋山大將榮轉に就き同縣なる愛媛縣人會にては永沼直方、大久保雅彥、阿部秀太郎、水口隆三、矢野義二郎の諸氏發起となり十一日午後五時より京城ホテルに於て將軍の爲め送別茶話會を開催の筈にて縣人なる古海警務總長川上東拓理事等も出席すべく同縣人は可成多數の出席方を希望すと因みに會費一圓五十錢也と

◎浦鹽大豆輸入

今後益々盛ならん

大連取引所に於ける大豆相場は去月以來暴騰に次ぐに暴騰を以てし今や殆んど天井知らずの有樣にて其結果立會停止數次に及び遂には未曾有の紛擾を釀し今に解決を見る能はず元來昨今の相場たるものは人爲不自然のものたるや勿論なれば到底此儘持續すべきものにあらざるも取引紛擾の現狀は種々の行懸り上卽時容易に解決すべくもあらず故に三井、鈴木、小寺等各巨商は浦鹽品豐富にして價格の低廉なるに著目し專ら同地との取引を開始せり卽ち去月下旬入港の龍裕丸（鈴木商店）にて千六百噸の輸入を始めとし本月一日忠雄丸（三井物產）七百噸四日御芳野丸（鈴木商店）三千噸五日弓張丸（小寺商店）千二百九十六噸等續々輸入を見つゝあるが更に引續き一兩日中第二深川丸第二錦旗丸（以上小寺）も大豆を滿載して入港すべく其他三井物產にても目下船腹の手配中なれば今後續々として大輸入を見るべく市況大に活況を呈し來れり而して現今浦鹽に於ける相場は船積込金四圓五十錢にして運賃一圓三十錢乃至五十錢なれば運賃を通算し且つ銀相場に換算せば大連の市價に比し約一圓五十錢內外の差額を生ずるを以て浦鹽取引は頗る有利の狀態にあり殊に該大豆を入れし空袋は一個二十錢位に賣買されつゝありといへば之亦相當の利得たるを失はずと（大連）

◎商租問題討議

南滿洲土地商租に關する細則は往年支那側より我外務省に其原案を提出したる儘彼我の懸案となれるが最近聞く處に據れば我外務省に於て之が對案は略脫稿せる模樣なるも何分本省に於ては滿洲の事情に精通せず又南滿各地に於て其事情を異にする處ありて其施行に無礙なる一定の規程を設くる事は其實容易の業に非らざるを以て今日迄遷延せる次第なれば寧ろ南滿領事會議を奉天に開き外務省及び都督府より委員を派遣して一堂の下に討議せば該問題を解決する事差して困難に非らざるべしとの說某筋に起りつゝあれば或は近く其實行を見るに至るべしと（奉天）

◎滿鐵事務所と保險

過般火災に罹り其大半を烏有に歸せし奉天驛前滿鐵貨事務所は三井物產大連支店の取扱ひに係る明治、東京、日本共同、橫濱の各保險會社に對し大正二年二月以來總額二十萬圓卽ち一會社各四萬宛の保險契約を爲し居れるを以て其當時保險會社側にては代表者を現場に派遣し詳細なる調査を爲さしむる所あり其後被保險者たる滿鐵會社と數次交涉を重ねたる結果滿鐵より各保險會社へ關係書類を提出し保險金の支拂方を請求したるが該書類中不備の點ありしに依り此程更に訂正せしむ可く返附せしを以て目下滿鐵會社に於て再調製中なりと云へば近く該書類提出の上は各保險會社共直ちに保險金の支拂を爲すべしと（奉天）

◎鮮銀券發行高

七月二十九日より八月四日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は四千二百七十五萬四千二百六十六圓なり

【地方】新義州

▲木材會社の增資 新義州木材會社は過日の總會に於て木材界の趨勢に考へ從來の資本金五萬圓を二十萬圓に增加するに決し來る十五日を以て愈々當局に向て其申請を爲す運びとなれるが同社從來の好成績は已に一般の認識する處なるを以つて同社增資の報傳はると共に其株式の引受を申込むもの續出の狀態なりと因に同社今期の配當は二割五分にして尙本年營林廠に對する責任販賣額四十萬圓は已に前月迄に是を充せる由なれば其の營業成績は是れを前年度に比し寧ろ勝るものあるべきを期待せらるゝなり

▲多田商會の大孤山航路 當地多田商會にては其所有小形汽船花咲丸を以て數年來安東縣及び大孤山間航路に於ける貨客の運漕に從事せしめつゝありたるが近時貨客の增加著しく且つ其の將來の有望なることを確むるに至りたれば安東縣に於ける支那運漕業者順記公司及び大孤山に於ける有力なる支那商人と共同出資して同航路貨客運漕業を經營することゝなり先づ擴張の第一步として過般來安東縣に於て汽船一隻の新造に著手し居たるが近く竣成すると共に花咲丸と共に同航路の運漕に從事すべし尙島田商會及び滿鮮運送會社專務增田光平氏と共同經營にかゝる北支那方面へ木材運搬の爲め建造中なる日本形船舶は是又不日竣成航海するに至るべしと

▲製紙會社買地の進捗 新義州停車場東方の原野に於て其工場用地買收中なる製紙會社は道郡當局の好意により多大の便宜を感じつゝあるが頃日は眞野新義州警察署長に於て道郡當局及び會社側の斡旋により土地所有者中交涉の困難にして進捗し難き部分を引き受け相互の意志を疏通せしめたる結果著しく買收の歩を進めたるものゝ如く不日全部の買收を終了すべき見込なりと

【地方】公州

▲警務部長歸任 去る唐津警察署管內巡閱の爲め田部警部其の他を隨へ出張中なりし神田警務部長は七日正午歸任せり

▲教員講習終了 忠淸南道に於ては客月二十五日より二週間の豫定を以て道內各公私立學校教員七十二名を召集し夏期講習會を公州公立普通學校に於て開催中の處豫定の講習を了り七日午前十一時より同校に於いて上林道長官以下各關係者臨席の上修了證書授與式を行ひたり

▲喜雨臻る 月上旬豪雨ありて以來一滴の雨だになく炎暑の暴威益々甚だしく折角植付たる水田も早や龜裂を生じ雲霓を望む事切なりしが俄然八日午前六時より沛然として喜雨臻り農家は勿論一般の悅び譬ふるに物なし

【地方】晉州

▲佐々木道長官歸省 本道長官佐々木藤太郎氏は來る十三日より三週間の豫定にて鄕里山口縣に歸省する由

▲橫井二部長出張 本道第二部長橫井二郎氏は馬山郡に於ける金融組合總會に出席の爲め出張せり

▲馬晉間自動車組合 當地有力者石井高曉氏外十一名の發起にて馬山晉州間の自動車組合を設立中なりしが愈々組合員募集終了せし故資金一萬圓を以て不日營業を開始することに決定せり尙同組合にて新に自動車三臺を購入朝夕二回の往復をなし乘車賃は三圓の見込なる由

▲喜雨來る 既電の如く連日喜雨至り久しく旱天の爲枯死の狀態なりし稻作も稍々恢復せし模樣にて今後開花季節に風雨の襲來なくば最早豐作と斷定するも早計にあらざるべしと當局者は語る

敦賀より

▽橫斷航路の沿革

八月六日 特派員 中島 克巳

▲敦賀と朝鮮 敦賀港は由來朝鮮と密接不離の關係あり其の傳說に見ると敦賀は角鹿の轉訛にして遠く數千年以前任那の使者に因めるもの現に當地官幣大社氣比神宮境內に角鹿神社を祭り殆んど氏神として祭祀すと言ふが如きに見るも如何に往時より朝鮮と密接の關係ありしかを知るべし敦賀が始め近郊陸路に由る取引より海路取引に移り最近浦鹽貿易及び北海道北陸との取引に生き海外取引と貿易を其の主眼とせる折柄偶々朝鮮郵船會社に由り日本海橫斷航路試航の實現さるゝあり益々兩者の關係は奇しき運命に在るものにして又當然の成行とや言はん敦賀港が多年の希望たる日本海橫斷航路の開始に由り淸會鐵道に依つて間島方面と、及び京元鐵道に依つて朝鮮各道と內地東海、京阪神、北陸、山陰間を連絡せしめんか、不經濟極まる從來の迂回航路の缺點を除き最近捷路として大に貨客の利便を加ふるに至るべく依つて以つて兩地方の貿易を增進し北朝鮮及び裏日本の進運開發に資する所頗る大なるべきは今更絮說するを俟たざる所然れども此航路たるや個人經營事業としては尙收支相償ふの期に達せず相當の期間中補助航路とするの必要あり故を以て從來關係地方卽ち敦賀及び朝鮮日本海沿岸地方商業會議所等より屢々政府及び議會に向つて請願する所あり既に議會に於ては一度び其議を採用せるのみならず自から進んで同樣の建議を爲すに至りたるが如き輿論の所業已に明瞭なるに拘はらず財政困難の理由の下に當局の容るゝ所とならずして今日に及べり

▲大和田氏の計畫 其間一度當地投資家大和田氏單獨經營に由り該航路を實現し得たる事ありしは敦賀港民の齊しく滿足を表する所にして爾來之に適應する諸種の企畫も行はれんとし一般同航路の前途に多大の望を囑しつゝありしに不幸大和田氏の計畫は客年十月第一回の航路を遂行したるのみにて休止の姿となり關係地方民の失望大なるものありしが元來大和田氏の計畫たる豐富且低廉なる北鮮の生牛を內地に移入し以て兩地方の需給を疏通すると同時に之れより生ずる利益に因り航業の損失を補塡し政府の補助に代へんとするものにして其開始の曉一千噸內外の船舶を一箇月四五回航通せしめ生牛の外弘く一般貨物の回漕に任ぜんとするに在りき、然るに當局は北鮮生牛にも牛疫の危險伴ふものなりとし安全の上にも安全の計を計らんが爲め敦賀港に於ける畜牛の檢疫は當分の內檢疫及び指定したる屠場に於て屠殺するに非ざれば絕對に他へ輸送すべからざることゝせり（明刊へ續く）

人事消息

▲シフトレー氏（淸津駐在英國副領事） 退京淸津へ 九日朝
▲ロバーフ（鐵山業） 同日入京朝鮮ホテルへ
▲南宮營氏（豫島郡守） 十日午前八時三十分發赴任

○進湖夜泊 蛹州 立花小一郎
來泊淸風明月灣。連呼夜半向松灣。航樓夢覺驟雷雨。船在前宵繫纜灣。

船中聽某將校奏尺八
玉笛一聲飛海天。雲濤澎湃欲翻船。曲終大霧晴無跡。依舊乾坤自浩然。

諸兵演習
曉風陣陣出雄城。萬馬嘶枚天未明。背指鳳儀山下月。一鞭亂水水無聲。

○李王職庭園池に立ちて 虎耳
みその、空馬嘶きて蓮咲ぬ
路を出る西施の顏や池涼し 鄭佛

濟州島の海女（三）

男も跣足の堂々たる體格

働き盛りは二十歳前後

「人間といふものは先づ最初土を耕やして食へるまでは平面に陸地に擴がりたがる、平地がなくなると餘つた人間は海上を征服する」――といふ事を何かで見た。濟州島民が海を征服するやうになつたのは之とは少し行き方が違ふ、耕やさうと思へば未だ幾らでも平地はあるが何しろ

◇土壤が惡るい、到る處礫岩のゴロ〳〵した瘠地なので貧弱な島民の力では迚も之を沃土と化し一朝にして耕鋤の利を見やうといふ事は困難である、纔か廬でも餬食の早い海へ志すやうになつた譯である現に三萬七千戸の百姓が一年中土を叩いて漸く島民の食ふ三分の二ほどの米と麥と

◇粟を收穫するに過ぎない、後の不足は勢ひ陸岸から移入し海の産物を以て其の代價を拂つてゐるといふ有樣である。昔から斯うした瘠地に生れて斯うした境地に育つた島の女は、女だからと云つて決して安閑とは爲て居られぬ筈『働け、働け』といふ自然の強い壓迫を感じて焦燥し煩悶した結果彼等は其唯一の働き場を海に求めた、最初は縫針や煮炊の片手間で

◇磯の岩影 位を漁つて居たものが子から孫、孫から曾孫と代が變はるに從つて女と海とは益々密接に結び付き終には海で働くことが女の本職となり、獨立して今の海女といふものが生れたのであらう。伊勢の海女や天草の海女はイザ知らず少くとも濟州島の海女は斯うした經過を辿つてゐると思ふ。

◇親が親なら子も子まで 蛙の子は矢張り蛙の子である、海で生れて海で育つ海女の娘は先天的に水泳が達者である、七八歳の頃には最う自由に水に潛る事を覺え海底の鮑、螺蠑、海鼠の類を捕獲して親を助ける然しまだ之では決して一人前とは云はれない。海女としての盛りは何んと云つても二十歳前後でそれから段々

◇下り阪と なり五六十歳になると始めて隱退する、即ち之と同時に永い〳〵間親しんだ海との縁が切れるのだ。何せ漸く物心付いた頃から降つても照つても海に浸るを我術と心得て孜々と働くので海女は皆男も跣足の堂々たる體格殊に皮膚の色など日に燒け潮風に晒されて

◇澁紙色と 輝き見るからに丈夫さうである。身には腹掛と猿股をチャンポンにしたやうな金巾の肌衣をつけたつきり、殆んど半裸體で平氣なもの、之等が幾十人、幾百人と群を爲して居る處は所謂五百羅漢を見るに異ならず、男性的の曲線美を思ふ存分發揮して實に天下の奇觀である。

圖 濱邊の海女

海で生れ海で育ち海で死ぬ濟州島の海女の體格は實に立派なもの、普通の着物を着ては腹掛けと猿股を一緒にしたやうな肌衣一つきり、殆んど足元に浮いて居る手毬のやうなものは瓢の一種（中をくり拔いたもの）を半分に切つたもので俗にパカチと云つて水に浮べ（使つてゐる）で之に獲物を入れる網を結び付けて『浮き』とし、五分なり十分なり潜水して浮び上つた時には之に掴まつて休憩する。

佛大學教授夫人 金剛佛跡研究

佛國ブラッセル大學教授デヒットニール夫人は從者一名を隨へ去る六日神戸より大阪商船丸に乘船し瀨戸内海の風光を觀賞しつゝ八日朝釜山上陸釜山鐵道ホテルに投宿し九日午前十時釜山發列車にて京城に向け出發せり夫人は京元線平康より長安寺迄自動車に搭乘金剛山に入り二箇月間の豫定を以て同山に於ける佛蹟の研究を爲す筈なり（釜山特電）

火藥爆發

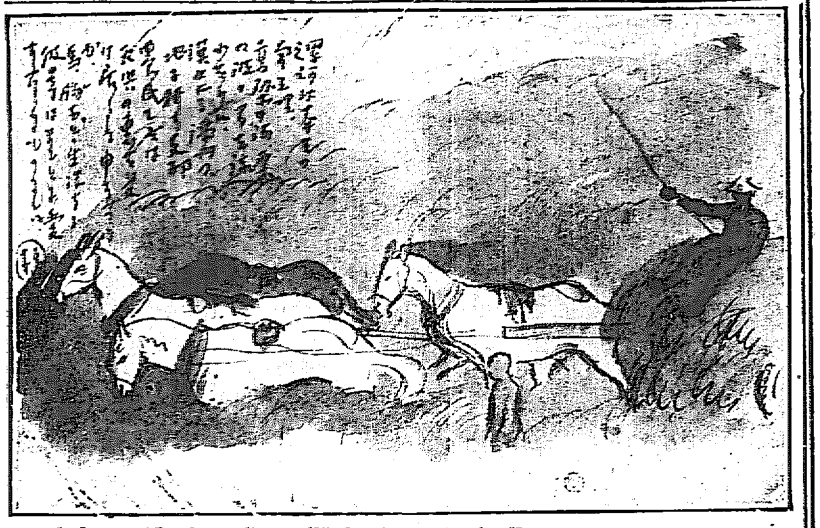
八日午後三時大分市中島町金田誠一所有の火藥貯藏所爆發して負傷者多數ありたり（大阪特電）

天龍丸浮揚る

二月宮崎縣油津港にて遭難せる日本郵船天龍丸は此の程浮揚り八日神戸に歸航せり（大阪特電）

揚子江大出水

黄河以北支那一帶に於ける水害は既報の通りなるが揚子江の上流四川地方に於ても先月末頃より大雨にて出水するに到り自流井鹽定叙州等の一帶人畜農作等の被害頗る多しと又た三日發漢口來電によれば同地揚子江の増水四十四英尺に及び同江増水の結果洞庭湖に逆流し同湖に注ぐ處の沅江、資江、湘江等又た爲めに大増水を來し附近一帶の住民は氾濫を免れじと恐慌し避難する者少なからずと



◇渾河より 鶴田樂村

渾河は氷天の南三里、高粱の街、粟の波の間を流れ居り候。渺々たる滿洲の地に耕す支那農民こそは天與の恩を受け居るとや申す可きか、生活する彼等はまことに愛す可きものにて候

浴衣の袖に指を切つて血書

小學教師から賊となつて各地を流浪する莫連女

山口縣美禰郡綾木村生れ原田政行妻原田靜子（三〇）は山口縣女子師範學校講習科を卒業し尋常科正教員の免狀を得て小學校教師として奉職中罷免され郷里にも居耐らず渡鮮し群山に四月群山支廳にて

▲懲役四箇月（二年間執行猶豫）の身なるが同人は以前夫政行と共に旅順三笠町中島秀次方に同居中靜子は同家が古木某より預かり居し衣類三點（三十四圓）を窃取して同地の質屋に五圓に入質したることあり罪科の發覺を恐れて單身朝鮮に逐電し群山井華島等の料理屋に酌婦奉公を爲して本年夏初めより京城南米倉町森田秀藏方に女中奉公中積善洞居住秋山光（二〇）と關係し同人に迷ひて又も窃盜を働くに至りたることを本町警察署の刑事が探知し此程

▲空屋に潛伏 中を取押へたり然るに同人は留置取調べ中髮に差しあるピンを以て指を掻き切り著用の浴衣の袖を引き離しそれに『ツレシキ』『火燃』『八月一日許シテ下サイ政行サン』『今迄ノ罪ヲ許シテ下サイ』等の文字を血書し髮を打亂して狂亂の姿に陷り居れるが取調べの結果京城にては數箇所にて窃盜を働き件の金員は何れも秋山光と共に消費したるも尚不足の爲公平洞飮食店桑田韜正方の女中となり七月二十一日明治町二丁目口入屋萬年社にて滿洲本溪湖の料理屋悲徳永初太郎が酌婦を物色中なるより前借金五十圓を以て抱へらるゝ契約をなし

▲前後三回に 金四十二圓を受取りながら情夫の許に潛伏して滿洲に赴かず件の金を以て秋山光と共に自動車にて淸凉里などを遊び廻はり明月館にて共に遊興して悉く消費したるものにて靜子が京城にて窃取したるは左の數箇所なる旨自白し取調べの上身柄は九日檢事局へ送られたり

南米倉町森田方同居人平井はる浴衣コート一枚外七點、淸水清十郎方名一圓に入質、同上蔡服一の高貴綾格一枚（十圓三圓に入質）、同米倉町沼田弘一方に忍び入り高貴綾格一枚（二十四圓六圓に入質）

香川縣に虎疫

香川縣仲多度津郡與島村に虎列拉發生したり（大阪特電）

大した暑さはもう來まい

曇天又は微雨が續くかも知れぬ

今歲の夏は例年にない暑さで去る六月十六日の如き京城は華氏九十七八度一で七月下旬にも華氏の九十七八度に昇つたことが二三日あつた、是を既往十年間の一番暑かつた年に比べても今年は

◇十七八度も 高熱であつた、併しモウ立秋になつたから大した暑さは再び來まいと思ふ。今ま八日來の雨に就き京城測候所員の談に據ると七日來小笠原島方面の太平洋に七百六十耗の高氣壓が現はれ同時に北支那方面にも七百五十二耗の氣壓が現はれしが更に黄海の仁川沖合にも

◇副低氣壓が 現はれ未だに是等高氣壓の配置に異動を認めないものであるから御覽の通り京城地方は雨雲が低く垂れて所謂る降りみ降らずといふ樣な天候である併し小笠原島方面の氣壓は漸次關西方面に移動せんとし又た七日まで平壤以西の滿洲地方即ち中部朝鮮以北は全く雨が無かつたが

◇八日の未明 から大分雨が降つた樣である、殊に京仁地方は八日午前四時から晝にかけて近頃に無い豪雨を見た、其の雨量は九日朝六時迄に京城は五十七粍、仁川は四十粍位、北滿洲は三十乃至四十粍位の雨量があつた、併し此の雨は京仁地方が多いのみで江原道の如きは此豪雨のあつた圈外にある狀態であるから部分的の豪雨であつたのである、而して

◇今後の天候 は氣壓の配置が前記の如くであるから俄かに快晴になる樣な事はあるまいが、去りとて大した雨は最も無からうと思ふ要するにコヽ暫らくは曇天又は微雨が續いて暑さも日に增し薄らぐことであらう。

降雨と農作物

一般に好影響

八日の豪雨は區域も存外汎く雨量甚だ潤澤なりしため最近炎天打續きて稻田は大に用水缺乏の觀あり又畑作は枯死に近き程の狀態にありしを以て其の潤雨の農作物に及ぼしたる好影響は少なからざるものあるべく殊に西鮮方面に於て其効果顯著也しと

小學生徒の殺人强盜

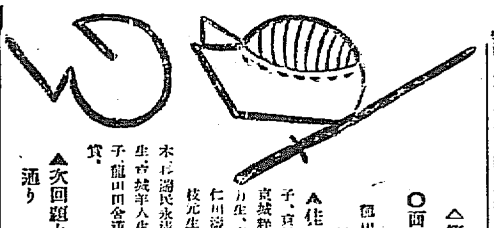
▽怖るべき活動寫眞の惡影響

新潟縣中蒲原郡沼垂町の往來にて去る五月中三好九平次夫婦を斬りたる犯人は其後嫌疑者として拘引せし同地小學校生徒二十餘名中高等二年五十嵐惣平（一五）を首魁とし外十三歲の尋常六年生徒四名なること判明したるが猶ほ六月中新潟市合田新太郎一家四名を慘殺せし犯人も同人等の所爲なること判明せり是れが動機は活動寫眞の惡影響によりたるものにして是等不良少年は常に窃盜を働き買喰ひをなしゐたるものなりとは驚くべし（大阪特電）

開場前に一刻も早く壽座へ

サッポロビールの觀劇會 遲れると這入れなくなる

サッポロビールの海老一觀劇會は愈々今九日午後五時開場すべきが壽座の定員は五百人なるを以て定員に達し次第入場を謝絶すべきにより開場前一刻も早く入場されたしと



▲次回題上圖の通り

讀者文藝（一等は五十錢…）

△狙めね

〇面と竹刀（一等）　龍山漢江通　尾花

▲佳作　京城政子、京城春海和尚、京城粉菜、大田近月生、京城ケイ生、仁川露紅、鳥致院枝元生、安城松の木生、京城民永清、大田青葉生、京城半人生、釜山埋沒子、龍山田舍漢、京城畑中賞

露國人八百名 横濱に船待ち

…るが目下横濱まで來りて歸國の爲め船待中の者八百餘名に達し何れへも便船なきを以て停滯難に困難し居れり

一等（六名）觀山秀雄、大賀龜吉、高橋よれ、舟橋吉一、東郷吉太郎、露國人テイ、ナルセエキ、田中末元郎…二等（二十七名）…

一等（十四名）露國人エム、ロンスプテイノスキー、同夫人、露國人コリーリンスキー…

課題募集規定

募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事 ▲…

天氣 晴れ時々曇り ▲八月十日（九日午後六時發）

商況

債券現物特電（九日出來値）

東京五分利公債	七九、五〇
同四分利公債	五七、八〇
朝鮮銀行	[illegible]
京釜鐵道	一四九、二〇
南滿洲鐵道	一八、〇〇 / 一四七、五〇

公債直取引（東京）

九七、〇〇

深川在米特電

東京期米特電（九日前場）

八月限	二三、三七
九月限	二三、四一
十月限	二三、〇〇

大阪株式

銘柄	八月限	八月限後場	八日
宇治川水			
京阪電鐵			
東洋紡績			
鐘淵紡績			
大日本紡績			
日本郵船			
大阪商船			
東株新株			
大阪新株			

大阪三品特電（八日後場）

八月限	四二、〇〇
九月限	四二、六〇
十月限	四二、九〇
十一月限	四二、九〇
十二月限	四三、〇八
一月限	四三、〇〇

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

絹糸布不明

糸布相場は各店の入荷異りて詳らかならず本日大阪綿糸は四百十八圓所と同各内綿糸一値段の入荷なるか當限又は先限…は不明

米棉

…

鐵價更に新高値 棒鐵類二百圓を報

鐵材は屋根の如き事情の下に續いて市價の品騰を促がし其後の大阪入荷は前報より更に二十圓近く暴騰せるが當市中相場も之と採算上相場を高め朝來の氣配は五分丸二百二

十圓處

…

人氣先走り過ぎ

…

湖南方面の作況

全南全北及び忠南一部の作柄を綜合するに此の四五日來弗々ながら降雨ありしも十五粍より三十粍内外に過ぎ…

尚水不足も豐作の見込充分

…

洋釘亞鉛線昂騰

…

作柄稍劣

…

乃二一圓方騰貴

一圓五十錢至

一圓五十錢方昂騰せり

各地夏大豆

鮮內地夏大豆には好都合

期遲れ

爆藥閑散品薄

鑛業稼行休止中

賣り止め

入品亦割高

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 仲買店 電話長三六七・三六九

苛性曹達急騰

引合値は百八十圓處に達し

一部製造工場復舊

復た下落

農具土工用具漸騰

約一割五分方急騰せり

下關相場

△朝鮮白米は手堅し…

保合底强し

硬に崩れ 中限依然强

買物多く利喰と新規

安値は豐作を見るも大した

米價の前途

軟派

硬派

大阪の成行

大保合は生値に逆戻

依然賣氣旺盛

金融狀態及諸物價の高値を續持し居る限

仁川米豆取引所仲買人 主任 西川本治郎 仲買店 電話長一五八番 電話七二〇番

京城正米

△朝鮮一等白米（四斗）	二十三圓八十錢
△同	二十三圓九十錢
△川上大豆	十三圓五十錢
△大孤山青大豆	十三圓六十錢
△元山大豆草上	十四圓二十錢
△同	十四圓三十錢

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三七番 三六八番

南大門の廻穀

平澤白米	二十臥	中和裸麥	四〇臥
安州粟	二四臥	黄州裸麥	六七〇臥
郭州大豆	二九臥	南市玄米	七〇臥
公州大豆	七五臥	大邱小豆	二十臥
京元	四〇臥	大邱小豆	二十七臥
直臥	一九四臥	郭山白米	五四臥
黄州裸麥	二一臥	平壤裸麥	三〇臥
新幕小麥	四五臥	新幕小麥	六〇臥

釜山穀物（八日）

▲正米（保合） 引續き出廻品潤澤ならず本邦大阪定期米は依然として一品一低小往來保合の商狀本日寄入電は先二十二圓八十錢さの小甘き新ありし今市場は依然朝米必需補充口よりの買殺ぎ外ならざるも何樣屢々報ずるが如く閑散の折柄一向捗々敷買氣よく市場人氣不引立ちに見るべき商談行はれず相場は保合同事なり 總出來高五三三個、中白三六個、玄米三九四個、大豆一〇三個

生魚市場

京城魚市場建値左の如し 仁川タイ三七、同鮮山三〇、サワラ一〇、スヽキ二五、クルマエビ七五、アナゴ二四、アユ七〇、イセエビ二二、ハモ一五、スヽキ二〇

釜山水産市場（八日）

天候回復の爲め本日は入船多く市場は昨日に比し低落せり ▲大ブカ三圓 ▲タイ十三圓 ▲イセエビ十三圓 ▲スヽキ十三圓 ▲サワラ八圓 ▲タコ六圓 ▲アナゴ十三圓 ▲シビ十二圓 ▲雜魚六圓 ▲ヒラメ八圓 ▲エビ二十圓 ▲ハモ五圓 ▲水揚高一千一百八十七圓五十八錢

仁川期米

九日前場（保合）

▲兵庫前寄二十一圓八十六錢 大阪天候 曇天 前寄二十二圓六十錢と昨よりも十八圓九十五錢安の入電 中十八圓九十七錢と七錢安に寄付きたるも賣物多く五錢と返し押目は又一錢と押したるが押目は文も買物多く五錢と九錢と保合の裡に跳ね返し八錢と揉み合ひ小鈍き成行を示して散會

田中金兵衞 電話長一六二八番 定期米賣買の委託

市場零聞

▲三度八圓臺 天候曇 けて十八圓九十五錢と下放れに寄付きたるも小口投げに新規賣物多く…

仁川米豆取引所

九日の十月限

	寄付	高値	安値	止め
前場	十八圓九十五錢	十八圓九十八錢	十八圓九十錢	十八圓九十二錢

平均値段	
一節	十八圓九十五錢
二節	十八圓九十六錢
三節	十八圓九十八錢
四節	十八圓九十八錢
五節	十八圓九十九錢

賣買取組高		
八月限	一九、〇六〇	一萬三千三百石
九月限	一九、〇〇〇	二萬四千五百石
十月限	一九、〇〇〇	三萬六千五百石
後場	一九、〇九二	前日と比 一一安 一四〇安 一八〇安

白米標準値

二十三圓七十錢

御榮進遊ばされし 兩中將宮の妃殿下

◇育兒に御熱心なる久邇宮妃殿下と◇
◇諸外國語に御精通の梨本宮妃殿下◇

今回陸軍中將に御榮進遊ばされた久邇宮邦彦王殿下の妃殿下俔子殿下と申すは、公爵從一位島津忠義氏第七番目の御息女にて、山階宮故菊麿王富子殿下の

◎御姉君に當らせられ 黑田長成侯夫人淸子、松平直亮伯夫人充子、德川達孝伯夫人智子、久松定謨伯夫人貞子の君達とも御姉妹の間柄にて御仲睦まじきやに承はる、而して殿下には琴、茶の湯、挿花より刺繡、裁縫に至るまで苟も婦人の心得置くべき事柄は

◎悉く御精通 遊ばさるゝ由、宮家には王子王女いづれも御三方づゝ在しまし、第一王子朝融王殿下には學習院中等科四學年、第二王子邦久王殿下には同中等科二學年、第三王子邦英王殿下には同初等科一學年、第一王女良子女王殿下には學習院女子部中等科二學年、第二王女信子女王殿下には同中等科一學年、第三王女智子女王殿下には同初等科五學年に

◎孰も御在學 中なれば妃殿下には王子王女の御教養に勵しませ給ひ、趣味生活より遠ざかり給へど、王子王女達の學業御成績勝れて良きを御覽せ給ふをこよなき御樂みと遊ばす由又久邇宮邦彦王殿下と共に陸軍中將に成らせ給ひし梨本宮守正王殿下の妃殿下

◎伊都子殿下 と申すは舊肥前佐賀藩主鍋島直大侯の第三番目の御息女にて、父君直大侯が伊太利公使たる時、明治十五年二月二日伊太利の都羅馬にて御誕生相成りたるを以て伊都子と御名をつけさせられたるなりと、斯く異國に於て御誕生遊ばされしこともありて

◎伊太利語は 申すに及ばず佛、英、獨の各國語に御精通遊ばさる、第一の王女方子殿下には目下學習院中等科四學年、第二の王女規子女王殿下には同初等科五學年に御在學なれば東京を在らせ給ふときも殿下京都に御赴任の上は妃殿下にも京都に成らせ給ふこととなるべき由

◎堺市用水缺乏

堺市水道缺乏の爲め七日より隔日に晝間丈給水することゝせり（大阪特電）

◎海水浴場に輕快なる モーターボート

仁川月尾島海水浴場總支配人役松太郎氏は今回米國製エビンルード式艇用取外しモートルを購入し三巴號に取附けたる上一般希望者に貸與する由なるが該モートルは三馬力半にして一時間の全速力十二哩を出し然も操縦容易にして婦人と雖も自由自在に進退する事を得べしと器械は八日着直ちに取付け今明日中には月尾島一週の試乘をなす由なるが輕快なるボートにガソリンの香も勇ましく仁川港内の波を切つて遊ばゞ愉快此上も無かる可し（仁川）

◎水蒸氣で食物を殺菌する

△簡單な防腐器の製法△

夏季はチョイと油斷すると、食物が腐敗する腐敗するのは其處にバクテリヤが繁殖するからで、其の際多くのものは腐敗毒プトマインを生ずるから腐敗したものを喰べると中毒する殊に蛋白質を多く含んでゐる

◆肉類の如きものは プトマインが多く生じて危險である魚類や肉類の腐敗程度を科學的に知ることは一寸困難である腐敗しないものと腐敗したものの境が明かでない蛋白質が腐敗の結果分解してアミノ酸となり遂にアムモニヤとなるのであるが多くの魚肉類は幾分か必ず蛋白胨からアミノ酸まで變化して居る、其の度の進んだものは腐敗の甚だしいもので、僅に變化したものは新鮮なものと云ふ譯である

◆併し肉眼的に鑑別すれば魚類が腐敗すれば目や鰓に變化がある、肉類が腐敗すれば指を觸れると肉に彈力がなくなる、マア此の邊で見分けをつけるが可い果物の腐敗したのは肉や牛乳ほど腐敗毒を多く生じないから中毒することも少ないが勿論腐敗したのを喰ふのは可いとはない、此腐敗を防ぐには色々な方法がある、冷藏庫や冷藏函の設備があれば申分はないが

◆これは高價なもので はあり絶わず氷を必要とする從つて費用が多いから中流以下の家庭で用ひるには幾分贅澤である、其れ程金もかゝらず煮たものなら使用法さへ正しければ一週間以上も持つ防腐器がある、これは罐詰と同じ理論を應用した簡單な防腐器で其の構造を申すと中籠ある金屬製圓筒の上端の緣に淺き溝があり蓋には頂に小さい孔があり下端は圓筒の溝にはまるやうになつてゐる

◆之を用ふるには圓筒に少許の水を入れ食物は器に入れて中籠に置き蓋の小孔には綿の栓を施して圓筒にはめ圓筒を熱すると水蒸氣で食物が殺菌される外に水蒸氣が上りて蓋に觸れ凝縮して液體となつて溝に流れ入り外氣と內氣との通路を絕つて終ふ、そして彼れこれ三十分乃至一時間圓筒を火上から取りおろす、これで可いのだ、斯くすれば內部の空氣冷却收縮して外部から入る空氣は綿の栓を通過せねばならぬから細菌は此處でせき止められる

◆從つて蓋を開けずに置けば腐敗する憂はないから何日でも持つ譯である併し蓋を明ければ再び此の手數を繰返さねばならぬことは言ふまでもない、此防腐器は世間で賣つて居るが何合

海の仁川

◆月光を浴て 貝を拾ふ朝鮮人

銀の棧亂れる月尾の濱 生活難と海の職業

本月三日は滿月にて夫れ以來仁川の滿潮時は午前五時頃より一日毎に四十分位宛遲れ昨今は八時乃至九時頃にて午後も又略同樣なるは連日報道したる處であるが其の反對に干潮時は午前二時頃及び午後三時頃なるより日中の海水浴に適せざるも

♣猫島沖及月尾島 附近には潮干狩する鮮人が多數群がつて砂を打ち返しては蝦蛄や蛤淺蜊などを漁つて居る、此等鮮人は何れも春から晩夏にかけて貝拾ひを職業として居るのであるが其數は實に數百を以て數へる程で昨今では婦は重にアサリ蛤などを漁つて蛤サリヨアサリサリヨなど

♣市中を驚いて歩き 男は重に神釣に用ふるシャコを捕へて漁夫に供給するのであるが收入は一回の干潮毎に五六錢乃至十二三錢內外に過ぎないから如何に安價の生活を營んで居つても他に職業を持つて片手間に貝拾をする者以外は生活が苦しいので昨今は月の出を利用して午前

♣一時頃の眞夜中 に海中に出る者が尠くない、猫島より月尾島に打續く潮干の海に皓々たる月は輝やいて、砂の襞と襞の間に湛へる水面にちら〳〵と水銀の色を溶かせたり、死んだ樣な波の上に絕わず銀の梭を抛げる靜寂な美しい海邊に出て、默々として貝やシャコを掘るのであるが、夜は流石に

♣立秋近い風の冷やかに神骨凉々として堪へ難いにも拘らず潮滿ち返す午前三四時頃迄潮干狩す、そして獲物は太底朝餉の惣菜立罩める頃ほひ、淺蜊サリヨ〳〵と町から町へ流して歩くのである

◆結婚に對する 女學生の理想

滋賀縣立大津高等女學校にては本春同校を卒業すべき生徒の結婚に對する理想を知らんとて教頭の問題を提出し夫れ〴〵匿名で忌憚なく書いた答案を求めました結果七十二名の生徒から得た答案を左の通り分類して發表しました

◇嫁ぎたき家

嫁ぐ先の家庭に就いて生徒の希望する家はどうかと云ひますと

舅姑共にある家	四六
舅のみある家	九
姑のみある家	三
舅姑小男小姑一切なき家	五
小男小姑のみある家	五
小姑のみある家	二
男小姑なき家	二

舅姑に就ては『優しい人』とか『物のよくわかる人』とか附記しあり、小男小姑に就ては『自分より年若き人』とか『十歳位ならばよし』などの注文あれど、舅姑共に絶無で氣樂な家庭といふ希望の甚だ少いのは寧ろ意外に感ぜられるではありませんか

◇財產に就て

はどんな希望があるかと云ひますに

多少ある家	五二
多くある家	七
少しもなき家	一三

の數字を示し第一の多少云々の中には『相當の財產ある家』とか『多くは望まず萬一の場合に困らぬ程度』とか『貧家と同等位の不動產』とか云ふ含み、多きを望む中には『千萬圓以上』などゝ記したるもあり一夫に屈さへあらば『少しもなき家』を望む者でありました

◇良人の人物

に關してはどんな希望でせうか

相當教育ある人	三四
男らしき人	二五
酒を飲まぬ人	一九
體格の立派な人	一六
酒も煙草ものまぬ人	一五
眞面目な人	一二
溫厚な人	九
趣味ある人	九
敎師家	七
愛情深き人	七
風采其の他	六

更に良人の職業に關しては右に示す他は二三名づゝに過ぎませんでした、軍人が十五名、官吏十四名、もの二三名あり、年齡は二十四五歲より二十七八歲を望むもの四十名、二十四五歲より三十歲までを望むもの三十名あつたさうです

淨瑠璃

▲嘗て達理の松後町さいふ淨瑠璃は關西では餘り語らぬやうだ、京城では一度も聞いた事が無いが情緒纏綿、聞いて居て氣持ちの好い淨瑠璃、何んでも朝太夫が得意として語つてゐるらしい▲ある春の一夜、私は初めてこの一段を聽いて深い印象を與へられた、私の魂をうごかされたのはお夏の出で「道山おろし濡衣、心漲路立てて、雛波みよそに、よしあしの、思ひ亂れてお夏は今を盛り」の間で、この文句を遣ふ糸の合の手が巧妙に私の魂に入つた▲伊達太夫の得意の語り物、夕霧伊左衞門廓屋を聞いた時私は何故か語りとして日本一と云はれてゐる伊達の價を疑つた事が有つた、是れは私が伊達をヒドク貶ひ歎つて聞いたからであつた、しかし二箇月程經つて聞き直した時可成り動かされた、其の後妙な動機で越路と伊達の炬燵を聞いた事が有つたが矢張り越路は偉い所があると思つた▲一體炬燵などさいふ淨瑠璃は語り手がお客を泣かせるやうでは感心が語られぬと思ふ、越路の炬燵を聞いた時私は泌々さう感じた▲オヤしく思つた、それだけ越路の炬燵に動かされてゐたのだ（鬼十）

◎樺太夫上阪と淨瑠璃會

昨年七月以來福岡にて稽古をなり居りし七代目竹本組太夫は今回京城各流派聯合の爲め大阪に赴く事となりたれば京城各流派聯合にて今九日午後六時より本町五丁目稻荷座に於て送別淨瑠璃會を催す出語り物左の如し

忠臣藏六（傳助）お司屋（日東）狐屋敷（萬國）鳩戶八（錦若）…

◎グール氏令息逝去

京城在住米國宣敎師グール氏の二男は去る七日赤痢病にて遂に逝去せり

湊の砂

■山籠り捕はる 淡路三原郡津井村原田吉（三九）は七月十三日内縁の妻西田ひさ（三五）を扼殺して一箇月許り山籠り中飢餓の爲め迷ひ出た所を五日朝捕へられた

■大金携帶者 東京府下八王子信用組合事務員奧沢政市（四〇）は先頃組合の現金三萬五千圓を携帶して行衞不明となつた

■拾つた五圓 埼玉縣北足立郡平方村島津秀吉は先月二十五日現金五圓を遺失したので心痛の餘り荒川に投身自殺を遂げ其の五圓を拾つた同村の岡田みよ（四八）は之れを恐れて金は警察署に屆けたが竹藪の古井戶に投身して之れも自殺を遂げた

■一家の悲慘事 東京京橋區靈岸島に繫留中の小舟に南葛飾郡隅田村荷水源藏（三三）一家族六名の者が睡眠中四日夜の風浪で舟が顚覆し六名は水の中に落ち込み源藏のみは辛うじて泳ぎ上り子供二人溺死し妻あき（二八）は蘇生したけれど發狂した

■父を探ねて 廣島縣御調郡…町三宅萬太郎の長女かつ（一三）は三つの時母に先立たれ十歲の時父はかつを棄て、家出し此の頃九州で炭坑稼ぎをやつてゐると聞き込み父を探ねて郷里から門司迄歩いたけれど探しあぐんで五日夕下關市奥小路を迂路ついて居る所を巡査に助けられた

■破戒僧自殺 東京芝高輪泉岳寺の役僧長野縣生れの三浦光榮（二七）は附近の兒玉喜三郎の妻まさ（二五）と關係した破戒の罪を恥ぢて三日剃刀自殺を遂げた

◉連絡船上陸客

八月八日午前九時二十分釜山入港高麗丸一二等客 …

八月八日午後九時二十分釜山入港さくら丸一二等客 … 古部由太郎、坂逸末六郎、三等五十八名

…より米國及び加奈陀に亡命中の露國人は二十五萬人もありて既に本邦經由の上歸國したるもの數千人に上れり

…表後一週間以內に到着又同筆者見當者には五十錢書籍券を呈す（但何號何號と明記に限る▲宛名は京城日報社編輯局讀者文藝係

口演藝案內

京城壽町 壽座 電話五七八番
江戸生粋いさみ合市川老鐵五郎一座
▲舞臺芝山墓 一幕 ▲舊劇武士茶屋 二場 ▲新派喜劇夢の浮橋 一幕 ▲三人滑稽引拔き曲藝 一幕
入場料特等七十錢一等五十錢二等三十錢三等十五錢

櫻井町 大正館 電話八七三
八月十日より ○珍らしい美しい涼しい納涼の親玉 ○天下一品 出雲踊 實演餘興

有樂館 早川演藝部直營活動寫眞常設館 東京小林商會特約
八月二日より特作『大金の鍵』『名思ひの旅路』 ▲滑稽『パイプ屋の危險』

黃金館 電話二三六七
八月四日より ○新派悲劇『慈衣』全六卷 ○新派大悲劇 ○舊劇『怪猫』 ○滑稽活劇『チャプリンの駈落』

明治町 浪花館 電話二六〇
東京落語雷門助六一行 毎日午後正六時三十分開演

勸業債券月賦販賣 各地代理店を求む 合資會社東京實業商會 東京市下谷區車坂町五十一番地 振替貯金口座東京三五六九二番

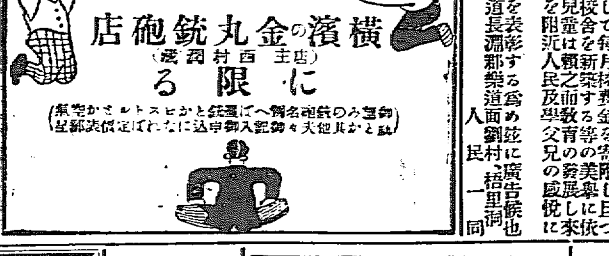
月經新藥レスノリン 發賣所 常盤藥院

株式會社韓一銀行 第廿二期決算公告 貸借對照表（大正六年上半期）

資產之部
未拂込資本金	貳五〇、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	壹、參參五、六四六・五參
他店へ貸	九、貳七參・八五
本支店間未達勘定	壹七、參七壹・九六
有價證券	[illegible]
營業用地所建物	[illegible]
營業用什器	[illegible]
抵當流込物件	[illegible]
假拂金	[illegible]
預金及金銀	[illegible]
合計	壹、八貳參、…

負債之部
資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	壹九〇、[illegible]
未支拂配當金	[illegible]
諸預入金	[illegible]
借入金	八貳九、[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定
前期繰越金 常期純益金 合計 此配當左ノ如シ 諸積立金 株主配當金（年三分） 役員賞與金 後期繰越金
右之通ニ候也 大正六年七月 株式會社韓一銀行
頭取 子爵 閔泳徽 取締役 趙秉澤 取締役 金漢奎 取締役 子爵 李容稙
右各項ノ調査ヲ遂ゲ此正確ナルヲ保證候也 監査役 崔相敦 監査役 沈相翊


鐵砲は橫濱の金丸銃砲店に限る（店主 西村直藏）

米期 曾我商店

黃海道長淵郡樂道面劉村小林鑛業所長は從來慈善心深く同面梧里洞に塾を設立し鮮人子弟を敎育せしめ同面劉村私立一樂學校が最近財政困難に陷り依て毎月己廢校するか悲境に至り且つ村民に數千金を寄附し美擧に依り同校舍は新築する等の發展し來るを以て兩洞兒童は敎育の爲め父兄の感悅に堪へざる所なり依て茲に廣告候也
黃海道長淵郡樂道面劉村、梧里洞 人民一同

桂商會
營業科目 有價證券現物賣買 株式社債債券の募集並に引受 金融の仲介 其他一般信託業務
東京市日本橋區南茅場町七番地 振替貯金口座東京三五二一〇番 長距離電話 浪花二七六九 浪花二八四八 浪花二八四九 浪花三一八一 浪花三九四九 浪花四四二一 浪花五三一一 浪花五五六八

內外科 小兒科 花柳病 高井醫院 京城本町二丁目（壽館前）電話二一六番 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 院長 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥

八畜無害 朝鮮總督府御認可 今迄に有ふれたる効能稀薄の物と全く違ひます バイチン はい取散
効能 室內の空氣中に撒布せば蠅は十分間にて全死保證す 南京蟲、毛虱、野菜木物の蟲等に特効
使用 一手元 京城南米倉町交番所前 藤井友造方 安藤安七 島田藥房

◎月收百圓以上確實 地方外交員至急募集 規則書入用の方は返信料三錢封入申込まるべし 東京市神田區猿樂町一丁目二番地 アンビル製藥所

魚釣具及投網卸小賣 吉備商會 京城永樂町二丁目 電話三一四番 振替京城四三八番 □御申越し次第定價表進呈 □遊船御案內

◎吾國の戰亂に對する特殊地位
歐洲戰亂の結果は、我國をして未曾有の經濟的膨脹を來さしめたのみならず、太平洋方面に於ては、あらゆる優越權を獲得する事が出來た、殊に南太平洋は世界の寶庫であつて、現に歐米の列强は、この方面に於ける領土的發展に依つて、今日あるを得たと云つても差支がない、吾國にして、この機會と此の地位を利用して、一大飛躍を試みたならば、幾何ならずして、世界の富國たるは難事でない、識者は早くも爰に着目して南洋に於ける最大有利事業を劃策し、熟練なる技師を派し、研究に研究を重ね、今回或る一大會社を創立の運びに至つたのは、實に國家の慶事である。

◎會社の內容は照會次第通知す
茲に社名其他に就き說明したいが、目下他に事情あつて、廣く公告するを許さない、殊に該社の發起人等は、我國經濟界に於けるあらゆる巨星を網羅したれば、申込數實に參拾貳萬株餘（資本金六百萬圓拾貳萬株に對し）に逆する盛況にて、全く公募するの必要なかりし。

◎弊店には多大の引受株あり
弊店社員は、初よりこの擧に贊し、現に發起人として活動しつゝあり、それ等の爲に特に多數株を引受けあり、されば希望の方には御分讓致すべく、既に滿株以上の盛況なればこの際大至急申込あらん事を希望す
尙目論見書、收支豫算、定款等詳細は郵券五錢封入御照會次第送呈す

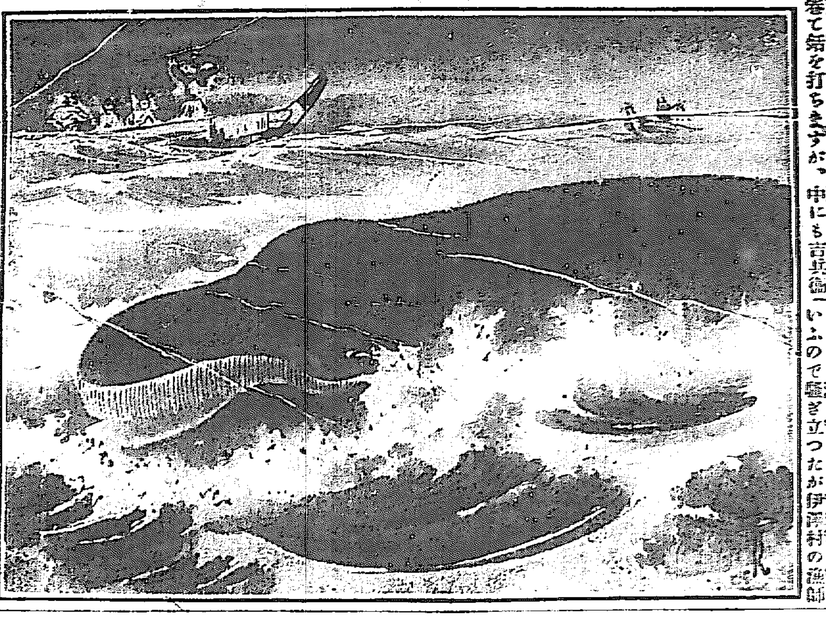
公債株式現物問屋 合資會社 桐生屋株式店 東京市日本橋區坂本町拾八番地 電話浪花二一五三・二四五一・五〇四八・五二八〇 振替東京三五〇五九 電信略號（トウケイ、ヤマボツキ）（キリフ）又（キ）

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

明君道中記

第二百三十席　田邊南龍口演

鯨が捕れると濱方が七年間賑ふと云ふから大層なもので、鯨といふものは浮いた處を捕らなければ捕れるものでない、當今では機械を以て海の底を攪亂して鯨を捕るから一年の内に七ツも八ツも捕れますが昔は却々然ういふ譯には叶ぬもの、浮鯨と云つて浮上るのを待つて居たのでございます。熊野浦の漁師は手に〳〵得物を提げまして小舟に打乗り矢を射る如くに鯨を目懸けて齊き付けまする、慣れとは云ふもの〻忽ち鯨を取巻て銛を打ちますが、中にも吉兵衛は銛を取つて　吉「一番銛は瀬村の吉兵衛だ」と云ひながら打ましたが、此の人は銛を打つのが名人である、最も銛といふ物は鯨を目懸けて打つものではございません、空を望んで打ますと其の銛がスートー下つて來て鯨の脊に中りますので、今吉兵衛が打つた銛はスーと下つて來かと思ふと狙違はず鯨の鰭脇へブッツリ刺つた是に續いて皆々が二番銛三番銛を打うとする時に、鯨は身を動かしたかと思ふと大浪が立つてドヽヽッと舟は半丁ばかり跡へ押返へされる、鯨は其儘水底へ潜つてしまひましたソレ鯨は潜つたから探せといふので舟を近づけ探して見たが何處へ行つたか判りません　吉「何處へ行つたらう」○「戸棚へでも入りはしねえか」吉『馬鹿野郎鯨が戸棚へ入つてたまるものか、せい〳〵探して見ろ』と是から手を分けて探して見たが何分にも知れません　吉「俺が確に銛を打つて置いたから遠からぬ内に何處ぞへ上るだらう、上れば其處から沙汰がある、まアそれまで待なせね」と皆々を引伴れて引揚げてしまひましたスルと是から三十日ばかり經つてのことで伊勢の海岸へ鯨が現はれましたから伊勢村の漁師が是を見つけてヤア鯨が來た、ソレあの鯨を捕れといふので騒ぎ立つたが伊勢村の漁師甚五右衛門を始め久七佐兵衛なぞといふ人々小舟に打乗り漕出し鯨を目懸けて取巻たが、甚五右衛門は銛を取つて打ちまする、續いて二番銛が佐兵衛三番銛が久七でございました流石の鯨も弱つて居る處へ二本三本と打れたから堪りません忽ち其處へ仆れてしまひます、直様綱を掛けて是を海岸へ引寄せ皆々鯨の脊に上つて孔を開け釣瓶で脂を汲出すといふから鯨と云ふものは骨までも金になる大したもので、何にしろ御奉行様へお屆け申せといふので山田奉行お谷川丹後守殿へ訴ましたによつて、奉行所より手附役人現場へ出張いたし右の鯨を検めまする處、何様鯨に銛が三本打つてありますから役人は甚五右衛門に對ひ　役「コレ甚五右衛門一番銛は其方か　甚「御意の通り私が一番銛でございます　役「二番銛は　佐「佐兵衛にございます　役「三番は　久「久七にございます　役「見受ける處銛は四本打つてある、成程三ツの銛は其方共のに相違無いが、此の一本の銛は誰が打つたのである　甚「へエー　役「只今検める處此の銛に彫付けあるは、紀州瀬村吉兵衛としてあるが、加之鯨の脊脇に打ち込んであつた、是は其の前瀬村の吉兵衛といふ者が打つた銛に相違無い、此の銛を打つたお爲鯨は弱つて此の海岸へ着たのであらうから、然て見ると一番銛は吉兵衛である。其方共三人と及び吉兵衛を加へて四分の物なら一分を吉兵衛に遣はして宜しからう　甚「御役人様の仰せではございますが銛を打ちますに急所といふのは目でございます、脊脇なぞへ打つものではございません、譯は見當違ひで何にもなつた譯ではありません、それへ部分けをする譯はありません　役「默れ、其方一人にて此の鯨を占しめやうとは心得違ひ乾度銛返しをして遣はせ」と申し付けました



▲九席　[illegible]

八月十一日　土

舊六月廿四日　乙酉

本命九紫　南南大安

[illegible]

寫眞

寫眞出張撮影

寫眞銅版、亞鉛版

最も熟練せる技術を以て最も勉強に迅速と可成親切な方針とし御需に應ず

京城日報社寫眞製版部

ライオン歯磨を、最も有効に使用するには、完全消毒のライオン歯磨本舗特製の『萬歳』歯刷子が理想的で宜しうございます。

山地海邊の避暑客が

毎朝お使ひ遊ばす煉歯磨は

今評判の

ライオン煉歯磨

また毎食後ご寝前にお使ひ遊ばす水歯磨は

今流行の

ライオン水歯磨

此の二品は紳士貴婦人の熱烈なる御愛顧を辱う致して居ります。

定價

ライオン煉歯磨(チューブ入)　一個　金三十六錢

ライオン水歯磨　大瓶　金一圓　中瓶　金五十錢　小瓶　金三十錢

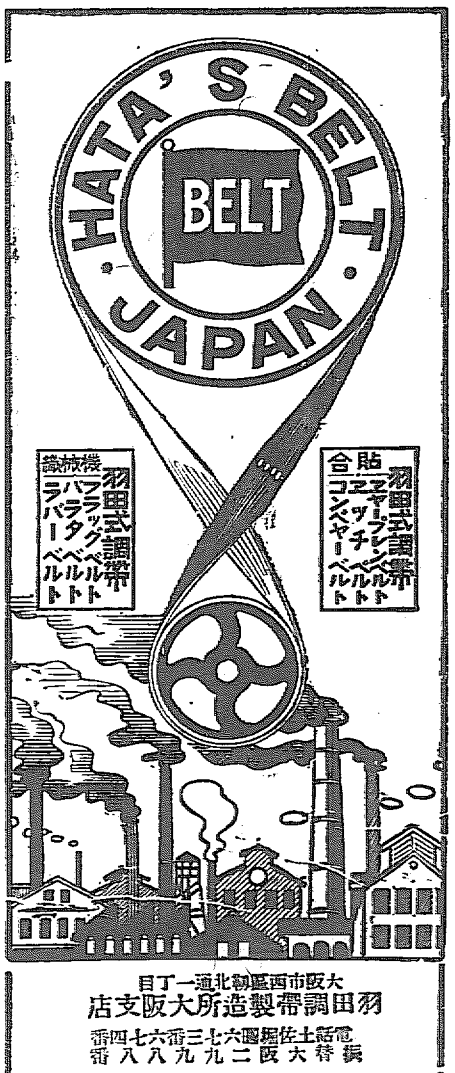
萬歳歯刷子　男子用　金二十五錢　婦人用　金二十錢　子供用　金十五錢

ライオン歯磨 「萬歳」歯刷子 本舗　東京本所區外手町　小林富次郎

支店 大阪東區博勞町二丁目　地方分工場 名古屋市西區名古屋町

振替口座東京二三二六番

(312—5)



大阪市西區靭北通一丁目

羽田調帯製造所大阪支店

電話土佐堀六七三番六七四番

振替大阪二九九八八番

代理店

京城南大門外

白神洋行京城支店

電話二五一七番(略シ一)

振替京城九二七番

京城日報 第三版
八月十日 (夕刊と合せて八頁)

戰局如何

京城日報

最近、露國已に選擧運動に熱狂するの際、[illegible]激の捷報を齎らす。或は云ふ、是れ西部戰線全線に涉る大戰闘の前提たりと。今春來、世間此四五月の交を以て西部戰線に於て大決戰を見ることを期待したるに、遂に其事なくして今日に及びたり。然れども、英佛軍の諸般の準備、既に全しと云ふより推すときは、或は、今秋に於て豫期の大決戰を見るを得べきか。併しながら、刻下の情形に就て之を見るに、西部戰線の爭闘は今猶ほ部分的なり。乃ち、英軍は西部戰線の西端に於て大奮闘を試み、一歩一歩敵軍を驅逐しつゝあるに對して、獨逸軍は西部戰線の中央、佛軍の前面に其力を集めて、攻進を企つるものゝ如くなれども、大體より云はゞ、獨逸の勢力は漸次衰耗し、只退いて自ら守ることを是れ併ふの姿なり。今春來、獨軍遙かに其西部戰線の突角を撤退するや、世間或は、何等の妙策奇謀の其間に存すべきを說くものありたれども、其實は、只是れ獨逸の勢力衰耗の一表現のみ、豈獨り突角のみと云はむや。獨逸の西部戰線に於ける戰略は、一歩一歩退いて其戰線を短縮し、これに依りて、以て防守の計を求めむとするにあり。專門家の言ふ所に依れば、假令今秋に大決戰なからしむるも、獨逸は何れかの地點まで退却を行ふべきを疑はずと云ふ。

顧みて露國戰線を見るに、吾人は其の甚だ稀事多きを歎ぜざるを得ず。露國革命以來、獨逸は其北方戰線の兵を西部戰線に移して英佛軍の進勢を阻止するに努めたるは、天下公知の事實にして、過日露軍珍らしくも攻勢を取りたるは、則ち此虚に乘ずるものなりしを疑はず。然るに折角其虚に乘じて、攻勢を取りたる甲斐もなく、露軍到る處に利あらず、徒らに退却を續くるのみなりと云ふ。宛も是れ露軍爲すなきの實を、敵に暴露したるも同樣にて、或は、これより却て獨軍をして、新たに露國内に侵入するの計畫を、立つるに至らしむるとなきを保せざるなり。

此度露軍の敗退に就き、世間二樣の觀察を爲すものあり。其一は曰く、露人自ら其の力足らずして、戰爭を繼續す可らざるを認むるときは、速かに講和の手段を取るに至るべしと。其二は曰く、露國人民は、獨逸がロマノフ家の敵たるに止まらずして、純露西亞の自由人民を敵として戰ふものたるを悟り、此に必死の爭闘を爲すべく、其の敗退は即ち其決心を固むるの原因たるに外ならずして、即ち是れ、戰役を長引かすの理由たらざる可からずと揣摩し居れり。何れが當るやを知らずと雖も、今日の情形の下に、露獨單獨講和を爲すは不可能事なり。實を云はゞ、今日の露西亞には和戰の大事を決すべき、中心勢力なるものなし。獨逸如何に講和を急ぐも、相手なき講和交涉を爲す能はざるや、論なきなり。啻に之のみならず。露西亞は今猶ほ混亂狀態を脫せずして、今や其友邦諸國政府の援護に依りて、自ら濟はむとするに是れ急なり。然るに、今にして單獨講和を求むるが如くは、國内の混亂は一層甚しかるべくして、友邦の援助は復た求むべからず、露國革命家を擧げて、單獨講和を排する亦其故なきにあらざるなり。

戰時の米國(下)

紐育にて 佐藤得四郎

△可驚製鋼造船界 米國に於ける製鐵製鋼業の發達は素ばらしき勢にして戰爭の結果注文輻輳日も猶足らざる有樣にして、已に本年度の注文は引受濟にして明年度一杯に更に約定をなせる向も有之の盛況なれば、注文に際し普通の商業信用狀位では容易に受付けず、米國一流銀行の確認信用狀を要求し之を示さゞれば注文に應ぜざるなど、かく〳〵に鼻息荒く當るべからざるもの有之候。斯界の巨頭合衆國製鋼會社の最近三箇月の營業成績は純益約千百五十萬弗なるを以て一箇年四億五千萬弗に及び、其總收入に至りては一箇年十八億弗に上るべしといふ。目下議會討議中の利潤超過稅は一割乃至四割の累進稅率なるを以て、假りに純益の四割說と見れば一億五千萬弗の稅金を徵せらるゝこととなり此稅金丈けで三億圓といへば日本の歲入出額に相當するより見れば利益の莫大なること事業盛況推して知るべきのみと存候。製鐵製鋼業に次で造船業亦盛大に候。歐洲開戰以來世界船舶の喪失は本年二月末調べに於て大小二千五百七十三隻にして、其總噸數實に四百八十一萬千百噸と算せられ居候、其後獨逸潛航艇は益々暴威を逞うし日々其損失を增加致居候に付、三月以降四箇月間に二百萬噸近くの喪失數に及ぶにあらずやと察せられ候(其後公表なきを以て正確の數字を知り難し)されば米國の造船業者は、開戰以來斯業の勃興せしものも有之已に船舶局の設立を見、本年に入り一層造船熱の昂上を促がし、晝夜兼行の態にて就業致居候折柄、米國參戰の結果獨逸潛航艇の驅逐、食料、軍需品輸送用船舶數百萬噸急劇建造の計畫を實行するなど、造船業は鐵鋼製鋼業と相並で花形の觀有之候。

△貿易八十億弗 戰爭の好影響を蒙れる米國の外國貿易は異常の發達を遂げ、一九一六年に於ては世界のレコードを破り、貿易總額八十億弗の巨額に達し、一九一一年及び一九一二年の合計額を超え、一九一五年より增加したる事二十五億弗に及ぶの盛況を示し、引續き本年に入り好況を持續致居り、毎月レコード破りの數字を見る有樣に候。從て金塊の輸入は著しく、毎月數千萬弗の純輸入を示し居り、現に金塊保有高三十億の巨額に達し居候、此内幾分か日本向輸入せらるゝ次第にて、去五月末以來日本向金塊輸出には政府の許可を要することと相成り、從て制限を加へた積りに有之候得共、米貿易の逆調は爲替相場の騰貴を促がし、益々金塊の日本向現送の傾向有之、過日一日に六百萬弗餘の現送を實行したる爲め、新聞紙は再び彼此書き立て居候得共、他人より物を買ひ金を拂はぬ譯には行かぬ次第故、貿易のバランスは金が決濟せらるゝは當然のことと存候。然るを僅か一小部分の金が日本へ行くからとて、愛兒を奪ひ去らるゝ如く騷ぎ立てるは滑稽の觀有之候。日本は僅かに米國が歐洲方面より取入れたる金塊のこぼれを頂戴して景氣付き居候次第なれば、徐々調子に乘り梯子段を踏みはずさぬ用心肝要と存候。先は右御報告旁々御通信迄如此御座候也

放浪漫記

七月三日セレベス島メナドに於て 大谷光瑞

(承前)ウエルトフレデンの北に接して、ミスター、コネリスと名くる市街あり、多くは駐屯軍の營する所とす、然れども普通人亦此に混居せり、タンジヨンプリオより此に至るや、十五六英哩、其端を以て之を云へば十八九英哩に及べり、世界此の如き狹長の市街あらんや、是バタビアの特長なりとす、蓋し南に距るに從ひ、地勢稍ゝ高く、最も歐人の居住に適せり、故に漸を逐うて南進し、以て今日の勢をなせるが如し。此地の博物館は唯人文のみにして、天產は之をバイテンゾルヒに讓れり、是を見るに中部又は東部ジヤバより來れる印度往古の彫刻又多し、刀法マガダに非ず、却つてドラヴイアンに近し、南印度の工匠多く渡來せしならんか、然れども纖麗ガンダラに比するもの無きに非ず、其像は佛敎の外多く波羅門敎を混せり、ジバ、ヴイシユス、ブラマ、ガネジヤ等少からず、之に陸してニユーギニア土人の器具あり、文野の別又精撰のみ、ジヤバ土人近時工藝品亦少からず、此中見るべきものなきに非ず、土人の手工亦決して他に劣らず、唯其の作る所徒に泥むのみ、若し與ふるに知識を以てし、敎ふるに技藝を以てせば、世界の市場に角逐するに足るべき工藝品亦爲し難きに非ず、ジヤバ以外に於ては殆んど見るに足るものなし。一夕我帝國領事松本幹之亮氏の招宴を辱ふす、松本氏は舊知の人なり、一昨年浮田領事の後を襲ひ赴任し、頗る令聞あり、爾來鋭意我帝國の貿易を盛大ならしめ、力めて蘭人の誤解を解き、以て日蘭兩國の國交を温め、兩國の福祉を增進せり、往年以來我邦人一二の不謹愼の言行ありしより、徒らに蘭人の疑惧を惹き、疑惧は轉じて猜疑となり、猜疑は轉じて防壓となり、爲に邦人にして冤枉を蒙るもの兩三にあらず、從つて國交亦冷索の感なき能はず、蘭政府の總督を更迭するや、現總督は久しく支那に公使たりしと共に我帝國の事情に精通せるを以て、昔時の惡習を一變せり、帝國領事亦常に國權を擁護し、國交を温め、本年に入りてより舊時の面目を改め、我國の資本家の投資亦困難にあらず、是兩國の福祉にして、兩國の爲め慶祝せざる可らず、將來更に一層の稔接を加ふることを希望に堪へず、シンガポールの山崎領事亦我國權の發達に盡力せらる、南洋兩地好箇の領事を得たるは我帝國の爲め欣喜に堪へず、兩君幸ひに加餐自愛、永く功績を垂れんことを切望致候。

誰 (四)

布施生譯

言は棄てゝ是まで念は忘れてゐた怒に燃れた。「言ひまする、もう默つてはゐられません、私をこんな目に會はせた奴を探し出して、復讐してやるんです。」『成程、さう云ふ方法ですか』『方法はつきません。』巴は投げたやうな口調で『しかし大丈夫です、所謂日蔭の一心で、さ、一身を犧牲にする覺悟なら何だつて出來ないことはありませんよ。』『成程、隱ては[illegible]時何處かへ身を隱すのですか』『身を隱す? そりや何んでも無い、そんな事をすれば猶[illegible]が強くなつて私の立つ瀬が無くなるぢやありませんか。』[illegible]老人は閉口けて[illegible]突然水中に投込まれたとしなさい、可いかな、[illegible]浮上つちや駄目ぢや、靜然と水底を潛つてゐる、そして待伏せてゐる奴共に死んだと思はせて、其奴共が往つて仕舞つてから悠然と浮上る、そして今度は不意に奴等の頸根子を摑んで一擧に復讐するんだ。よしかね、君は今恐い人に狙はれてるのぢや、君は姿を見せてゐてはいかん、是非共暫時姿を消すのぢやな、分つたかな、分つたら身を隱しなさい、ほんの暫時復讐の準備が整ふまでと可いのぢや。』鈴富は復讐伏せられたかな、可し〳〵、處で金子の用意はありますかな、無い? 多分無からうと思ひましたぢや、しかし君金子が無くては隱れ馱目ぢや、そこで此老人少し出過ぎたかは知らんが先刻道具屋を呼んでおきました。道具一切で千二百圓に頂戴するさうぢや、安價が[illegible]しては居つれん、それで不承して下さい。』鈴富は流石に慾いて『お、貴君は』と言懸けるのを老人は押冠せて『御不服は御尤ぢや、しかしまあ〳〵不承なさい、今の處飼は此貴君は病人で私は醫者ぢや、つまり外科の大手術を施すんぢや、外科の秘訣は一刀兩斷にある、斷念りなさい〳〵』鈴富は復讐伏せられて『宜しい願ひましやう』

仁川期米

人心沸騰す 天候晴れたるも南風強し各地入電未着[illegible]

▲九日後場 各地電報不着にて寄附先十八圓九十九錢と上伸し[illegible]多く九圓〇一錢と上伸し[illegible]一圓六十五錢東京二十二圓〇九錢大阪前止二十[illegible]

▲九圓臺復活 [illegible]

九日の十月限

平均値段 八月限 [illegible]

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金十錢
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

地方金融組合登記
龍仁地方金融組合(登記)
目的第九項ノ次ニ(十)組合員ノ爲メニ出資壹口ノ金額ヲ超スル者ハ組合員ニ非サル者ノ預金ヲ受クルコトヲ得
右業務區域中「南四面」ヲ削除ス
大正六年八月六日登記
京城地方法院金良場出張所

法人登記公告
一、平澤地方金融組合登記事項變更
大正六年七月貳拾五日業務區域ヲ左ノ通リ變更ス
京畿道振威郡内南面、松炭面、古德面、北面、梧城面、浦升面、玄德面、芙蓉面及西面
右大正六年七月參拾壹日登記
京城地方法院平澤出張所

鑛區買入
銅鐵鉛亞鉛鑛 鑛區買入致候
但許可鑛先願權及新發見共
右希望者は直接御申込相成度候
京城旭町一丁目電話九五五 三友鑛業事務所

各種石油販賣 白土商店

山林果樹害蟲驅除劑 シーエス液
蛄蟖類には百倍乃至七十倍にて
京城旭町一丁目電話一〇七八番
龍山元町一丁目電話四一二四番
山田商店
原液一瓶 三十錢 送料十二錢
カタログ御申込次第送呈す

第廿二期營業報告
貸借對照表 (大正六年六月三十日現在)

科目	金額
資產	
諸貸付金	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]
預ケ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
拂込未濟資本金	[illegible]
假拂金	[illegible]
營業用地所建物	[illegible]
抵當流込物件	[illegible]
本支店勘定	[illegible]
倉庫什器	[illegible]
營業用有高	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]
負債	
諸預金	[illegible]
支拂送金	[illegible]
朝鮮銀行代理店借	[illegible]
他店より借	[illegible]
政府貸下金	[illegible]
資本金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未拂利息	[illegible]
未經過割引料	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

損益勘定
金五萬四千貳百六拾九圓九拾貳錢也 當期利益金
此配當計算如左
[illegible] 缺損補塡積立金
[illegible] 別途積立金
[illegible] 配當平均積立金
[illegible] 株主配當金(年九分政府所有株ヲ除ク)
[illegible] 役員賞與金
[illegible] 後期繰越金
右之通リニ候也
大正六年七月
株式會社 朝鮮商業銀行
取締役頭取 趙鎭泰
取締役 白完爀
取締役 金漢奎
監査役 洪忠鉉
監査役 [illegible]
前記各項調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ證明候也
監査役 [illegible]
監査役任期滿了ニ付改選ノ結果 [illegible] 重任セリ

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年八月號 (定價貳拾五錢 郵稅二錢)
主要目次
□口繪
大邱の賴慶館、鬱陵島羅里洞の瀧、支那麻布檢査の狀況、泗川郡の紫雲英栽培、堆肥切返狀況
□郵便局長海事出張所長に對する總督訓示
□道第一部長に對する總督訓示
□朝鮮水利組合令の制定に就て 宇佐美内務部長官
□松蛄蟖新驅除法 村田陸軍藥劑正
□發電水力調査(承前) 遞信局
□朝鮮總督府に於ける教科書編纂事業の概要 小田編輯課長
【行政】朝鮮人の内地渡航狀況◎羅南の發展と其の市街計畫◎面吏員及篤行者選奬並産業功勞者表彰◎江原道行政區域名稱一覽表
【財政及金融】開港に於ける鮮船及牛馬車出入狀況◎官鹽附輸移入鹽◎大阪對朝鮮貿易◎五月中朝鮮經濟概況◎六月中朝鮮貿易
【産業】春蠶豫想◎麥作豫想◎棉作況◎栗の樹數並收穫高◎テウセンカラマツ播種と傾斜床面の方向◎クリ、クヌギ播種と被土に就て◎私營養苗事業の成績◎陸地棉共同販賣高◎黃海道、平安南道在來棉取引狀況◎大豆粒選實施成績◎大正五年改良農具普及狀況◎泗川郡紫雲英栽培に就て
【交通及土木】遞信事業概況◎六月中の鐵道運輸
【學事】大正六年度本府主催教員講習會◎司法部長官訓示要領◎監獄事務主任會同に於ける司法部長官訓示要領◎朝鮮に於ける猛獸被害及其の豫防驅除◎狂犬病
【司法及警察】監獄醫務主任會同に於ける司法部長官訓示要領
□支那貨幣小史 今關壽麿
□萬東廟の沿革 渡邊浚
【外國事情】朝鮮に於ける日本の施設
【研究資料】農社に就て◎朝鮮の進步◎鴨綠江對岸支那領の近況
◆地方通信◆雜報◆敍任及辭令◆統計◆法令及通牒◆判決例
▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料 二頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店
定價 一冊二十五錢 [illegible]
發行元 京城太平通一丁目 京城日報代理部
振替京城三〇〇番
賣捌所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

パイン万年筆
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕
當社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比且に理想的なる◎大日本政府登錄 米國製正十四金『イリジユーム』付ペン(責任保險付)
京城旭町二の六 東京パイン萬年筆出張所

大好評の
スタンレー乾板
イルホード乾板
ベルム鼠寫紙
パゼツト鼠寫紙
本店(大阪市心齋橋筋) 支店(京城南大門通三)
大阪 上田寫眞機店 京城

社員募集
○內勤社員二名 内一名は筆寫を能くする日本人ニ一名は國語國文を能くする朝鮮人
○外勤社員若干名(日鮮人共)朝鮮人は國語を解する者に限る
內出張所主任格のもの三名を採用す但し年齡三十歲以內にして外交上の手腕を有するものを求む
△有給社員の初任給料は月額十圓以上三十圓以下にして技能に應じて昇給の途あり尙成績に從て月々多額の別途收入あり
希望者は自筆の履歷書を携帶し午前中に御出を乞ふ(保證人二名(又は保證金)を要す電話の照會を謝絕す)
帝國公債信託株式會社朝鮮支部
京城長谷川町五十八番地電話長二五三四番

黒岩涙香先生譯 縮刷 涙香傑作集
わらはの罪・決闘
三六判天金函入美本 紙數五百頁總かな付 定價金壹圓三十錢送料八錢
西洋小說は幾多學者の翻譯せるものあれども解し難き個所ありて、興味少なし我涙香氏の譯筆は眞情を譯述して寸毫の遺憾なく獨特の妙趣は世の周知する處なり氏の著書中最も不思議なる出來事を面白く寫し出せる長編を縮刷したるもの本書なり、晚涼微風の下是を繙くの快言ふべからず。
發賣 大阪 大洋堂
兌捌 大阪屋號

○參議院召集令不日發表

支那參議院の召集令は不日發表さるべきが右は凡て民國元年の制令に倣ひ各省より三名づゝ蒙古其の他特別區域より二名の議員を出し對獨宣戰案の追認、豫算案、議員選擧法、國會組織法等を議する害なり尙閉會後は國會を召集すべし(北京特電)

○在支墺國人恐慌

支那は墺太利に對しても宣戰を布告すべしと傳へられ爲に在支墺國人間に恐慌を來しつゝあり(北京特電)

○支那軍艦の監視

支那軍艦一隻は七日夜より獨逸領事館前に碇泊し一切の行動を監視しつゝあり(漢口特電)

○黎元洪氏悶々の情

黎元洪氏は外遊の念切りなるも段總理其の他に阻止され獨逸醫院にて日々三國史を播き悶々の情を遣りつゝあり(北京特電)

○鹽稅剩餘金引渡

四國銀行團は鹽稅剩餘金二百五十萬圓を支那政府に支拂ふべく目下準備中にて近く是れが引渡しをなすべし(北京特電)

○佛國首相倫敦著

佛國首相リボー氏は英國軍需大臣と會見の爲め倫敦に到著せり

○聯合國側代表者協商

八日英國外務省に於て佛國首相リボー氏英首相ロイドジョージ氏外相コンテダン氏軍需大臣塞耳維首相パシッチン氏其の他聯合國側代表者會合し重要事項に就き協議せり(倫敦電報)

○兩中將赴任挨拶

松川新任朝鮮駐箚軍司令官及び本郷青島守備軍司令官は九日午後三時寺內首相を官邸に訪問し不日赴任につき暇乞の挨拶をなしたり(東京特電)

○總督下關著發

長谷川朝鮮總督は長江地方にある第三艦隊を慰問したる向井侍從武官と共に九日午前九時三十八分下關著、同日夕發聯絡船高麗丸にて歸任の途に就けり(門司特電)

●滿鐵の新理事

滿鐵對朝鮮總督府の委託契約第六項に於て滿鐵會社は京城に理事一名を置くことゝなれるが右京城駐在理事の人選に關する一般の方針は當初より既に兩者の間に意見の一致を見たるが鮮鐵委託管理と同時に滿鐵理事の增員を見るべきは既報の如くにして之は政府の任命に據るべく政府にては各關係者の意見をも參酌してな詮衡を重ねたる上之を任命せんとしたるが種々の關係ありて詮衡に日子を要したるも人選は既に決し今は手續上の問題のみとなれるを以て最近發表の事となるべく右理事決定の上滿鐵にては新たに京城管理局長たるべき駐在理事を決すべき筈にて既に總督府鐵道局との意志の疏通を見たる上なれば新理事任命後は直ちに京城駐在理事の任命を見るべく今日の處必ずしも新理事を以て管理局長となすべしと決したるにも非ずと(大連特信)

●地方費賦課金 五月分徵收成績

總督府調査に依る大正六年五月分地方費賦課金徵收額を聞くに全道合計に於て調査濟額百三十六萬二千八百六十一圓收入濟額累計百三十五萬六千二百九十九圓收入未濟額六千五百三十八圓調定濟額千圓に對する收入額九百九十五圓にして之を各稅に分類すれば左の如し

	調定濟額	收入濟額
地稅附加稅	五三三五、二五二	五三三三、二二〇
市街地稅附加稅	一七、九二六	一七、八八八
市場稅	二四〇、六一九	二三九、一八三
屠場稅	五一五、三三六	五一二、一九〇
屠畜稅	五三七、二五五	五三三、七二五

●夏蠶豫想

本年は全鮮を通じ桑樹は多少の寒害を被りたるのみならず春蠶の經過は各地共に極めて良好なりしを以て一般に桑葉の缺乏を告ぐることなきやを懸念したりしも春蠶末期に於て氣溫頓に上昇し爲に育蠶日數は概ね一兩日短縮せられ桑葉は各地に幾分殘餘を生じたるの實況にして忠北全北の二道は前年同樣夏蠶の飼養を爲さざりしも其他の地方に於ては概ね蠶種の掃立枚數を增加せるのみならず蠶兒の發育頗る良好なるが故に繭產額は多大の增加を見る可き見込なり今七月二十日現在調査に依るに蠶種掃立枚數は二萬二千百二十四枚にして收繭高は四千三百九十六石の豫想なり之を前年に比すれば掃立枚數に於て五千五百餘枚即ち二割四分收繭高に於て一千五百餘石即ち五割五分の增加とす、夏蠶繭產額累年比較左の如し

▲夏蠶繭產額累年比較表

年次	蠶種掃立枚數	繭產額	對前年比較 掃立枚數	對前年比較 繭產額(△減)
大正元年	六、三一三	一、三五六		三三五
二年	二一、〇四九	一、九八三	一四、七三六	六二七
三年	三〇、二五七	三、四八〇	九、二〇八	一、四九七
四年	三〇、六二一	三、一七五	三六四	△三〇五
五年	一六、五四六	二、八四〇	一四、〇七五	三三五
六年(豫想)	二二、一二四	四、三九六	五、五七八	一、五五六

●支那借款行惱

段祺瑞氏の復活後中央の政權を一手に[illegible]政總長として從前より極力主張しつゝありし對獨宣戰の實行を期し四[illegible]本側主となり小田切氏より專ら斡旋する處ありしも宣戰の未だ實行せられざると及び擔保等の點に就て[illegible]米國側にも交涉せるもの如く即ち日本側に對しては東亞公司に對し京[illegible]なりしに京綏線を合辦とする日本側との借款は支那人の反對する者少なからず[illegible]すべきにより從て大借款は急速の[illegible]成立を望み難しと雖も協商側より相[illegible]政府の[illegible]るのみ[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○趙の貝商は、事成らば王に歸せむ、成らずんば獨身坐せん耳と云へり。無責任の本家たる支那人にさへ、此の如き快活なる男兒ある也。而して我國の實業家は奈何。○特に斷りて置く、記者は總ての實業家を、一掃的に非難せず。乃ち記者の自から知る限りに於ても其の除外例あるを認む。されど姑らく其の傾向に就て論じ、其の空氣に就て語れば、我邦の實業家は、損害は國家自から任せよ、贏利は自家之に任せむとするものなからず。一言すれば、彼等は餘りに小膽也、餘りに近眼也、餘りに我利的也乃ち國家にあらゆる瀬踏をさせて自個は足を濕さずして、涉らんと欲する也。○吾人は今にして、南阿に於けるセシール、ローヅの如き人物が、我が實業界に湧出せんことを望む。凡そ世の中に快活なるは、冒險事業に若くはなし。而して其の冒險の、大仕掛なればなる程、快活の程度は增加する也。金さへ贏くれば其の手段は擇ぶ所にあらずとするが如きは、是れ事業家にあらず。眞の實業家は、事業家たらざる可らず。而して其の事業家中に於て、最も卓越したるは、敢爲、進取、自から虎穴に入りて、虎兒を捕ふる者にあり。兵戰の後には商戰あり知らず商戰の勇者は誰ぞ。

●海水溫度變調

釜山近海なる水溫度は客月末以來非常に低下し本月六日朝鮮水產組合が當港口にて行ひし海洋觀測の結果に依れば表面にて攝氏廿度八、四尋の深所にて十八度九、九尋の深所にて十三度八を示し昨年同期に比せば表面にて五度八、九尋の深所にて九度一低く例年の平均溫度に比せば表面は九月中旬、九尋の深所は四月中旬頃の溫度にして九州にて暖流の影響を受くる方面の冬季最低溫度よりも寧ろ低し此は勿論一時的現象なるならんも右に付消息通の語る處に依れば此はオコック海より宗谷海峽を通過し日本海に入りし寒流の勢猛烈なる爲め例年に比しより多く南下したるに起因せしもの如く各種の漁業は之が爲め打擊を受くるなるべく而して此の儘に推移せば本年は例年より早く涼味を覺ゆるに至るべしと

●灌漑影響調查

近來旱魃の爲め大邱水道の水源地方面なる壽城面民は灌漑用不足に付水道に引入るゝ水量を減じ灌漑用に充てしめ呉れよとて道廳及び府廳に請願する所ありしが前原大邱府水道技師は水源地水量と附近灌漑關係調査の爲め四日水源地に至り精細に調査したるが其の結果に依れば府民の水道用水一晝夜所用量十五萬五千立方尺の貯水は充分に得らるゝも上流に農民が豫定以外の灌漑をなす爲め思はざる不足を見る事なきを保せず而して壽城面地方の水流關係を見るに水源地上方梧桐より取水場までの水量は地下水を除くの外上流不足、取水場より龍溪洞附近までも同上而して淨水場より巴洞までは水流豐富なるは一方釜山街道八助峠方面よりの流域合併せしに由る又巴洞附近には灌漑用水を取りつゝある爲め今回道府廳に請願し來たりし壽城面巴洞の上下方なる中洞、下洞地方へ多少の影響を及ぼせしものなれども水源地取水とは何等の關係なきものなりと

●慶北養魚有望

慶尙北道にては本年四月中慶南密陽郡所在の總督府養魚試驗場より身長約三寸の鯉一千餘尾の分讓を得て道內達城郡達西面西塘池に放養したるが昨今の旱天に池水の減退せるを以て試みに之を捕獲せるに身長一尺七八寸に及び重量百五六十匁に達したるを見其の發育の速かなる實に一驚を喫するに足るものあり卽ち適當の地點に相當の設備を施し是等魚族の放養を行ふに於ては確かに將來有望の事業の一たるを失はざるべしと

●迎日灣烏賊漁

從來迎日灣に於ては烏賊の漁獲を見ざりしも本年は本月一日頃より最初鯖流網にて三四百尾の漁獲あり同七日頃よりは鯖流網の引揚げたる爲め約五六十隻の烏賊釣り船の出漁するありて一隻一夜に三百より四五百尾を漁獲しつゝあり相場は一尾一錢にて地元仲買人に賣渡し該仲買人は之を主に開き乾となせり而して其の漁場は同港より七八浬の沖合なるが就中其の最も多きは米ヶ鼻を中心として其の南北並びに九龍浦、廿浦の二箇所なり次に大敷網は東海面に二箇所同郡良浦にありては山口縣人某の經營に係るものとを合して三箇所あり目下時々四五百尾の鯖漁獲あり又地曳網は本月始めより八日迄に約千五百圓の漁獲ありたるのみなりと

●總武線一部開通

總武線の濱金谷安房勝山間の鐵道は八月一日より運輸營業を開始したる旨鐵道院より滿鐵京城管理局に通知あり依つて局線は其の連帶輸送を取扱ふ由其區間左の如し

濱金谷…保田…安房勝山

●京都視察團日程

京都市教育會主催鮮滿視察團は來る十五日入鮮の豫定なるが鮮內觀察日程左の如し

▲八月十五日安東縣著▲十六日平壤市內見學觀察▲十七日京城市中見學觀察▲十八日南大門發[illegible]同夜乘船歸國

●加藤經理課長出張

滿鐵京城管理局用物品購入其他經理事務打合せの爲め去る五日大連本社に出張したる加藤經理課長は四五日中に歸任の豫定なりと

●衞生課長金剛山行

警務總監部衞生課長坂東義雄氏は往復十日間の豫定にて十日京城出發金剛山に向け銷夏旅行をなすべし

●仁川短信

▲小學校教員視察 仁川尋常高等小學校一色小宮兩敎員及び他一二名は十日仁川發江玄丸にて大連、芝罘、旅順、青島等を視察すべく日程は江玄丸廻航日數と同一なりと▲仁川府協議會 仁川府にては十日午前十時より府協議員會を召集し六年度追加豫算の件に關し諮問す可し▲學校組合會 仁川學校組合會は十日午後四時より開會、大正五年度決算報告及び追加豫算軍用地拂下の件等を附議したる後小學校敷地に關する協議をなす由▲仁川府吏員 仁川赤十字愛婦兩委員部囑託たりし鎌田新太郎氏は府吏員に大原氏は鎌田氏の後任として何れも任命されたり▲商議會頭上京 仁川與田商議會頭は九日午前七時發列車にて岡本書記長と共に上京したり

人事消息

▲東野與左衞門氏(全南商事株式會社三島出張所長)九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲フェーリー、ルパート兩氏(米國商業家)八日夜退京
▲スミス氏(英國商業家)八日夜退京
▲西崎甫一郎氏(東京貿易商)九日夜入京
▲吉智縣八幡商業學校生徒見學團十三名 九日夜退京

■南言北語■

露國や獨逸の軍隊には女の決死隊が居て戰線で暴れ合つた▲露國の女の決死隊は却々勇敢だつて戰して居るなんて威張してる者もあるさうか▲いやもう女が暴れ廻るやうになつては閉口だよ▲露國革命の時でも眞ツ先にバスチーユを襲擊したのは女ぢやないか▲婦が暴れ出したらサー事だ許りおやない家內は閉口だからテー▲女と云へば何うしても出て來るのが亞米利加女だ▲先月四日米國のお轉婆連は英國婦人が年來の目的を達して▲益々參政權を獲得しさうなので、もう氣が氣でなく▲例の通り大それた示威運動をやつて▲お轉婆の大將バーンス夫人を隊長とする十二名の一團は▲壹の白中華盛頓の白宮前で大統領に聞わよがしに▲金切り聲を絞り上げて『政府は被治者の承諾を得て政權を得たのではなく……』なんかんと▲街上演說を始めたのでサー大變野次連は面白がり十重廿重に一團を取り卷き▲『生意氣な事を吐かすな』『彼のお轉婆等をカイゼルに呉れてやれ』など野次り出したから▲女連も無言ては居らず『何に此の道樂奴が』と忽ち大立廻りが始まり▲遂には警官が出張して十二名の女と野次連を澤山珠數繋ぎにして▲鳥渡來いでやつと鬼が付いたとはヤレ〳〵恐ろしや〳〵

敦賀より

▽横斷航路の沿革

八月六日 特派員

▲朝鮮と牛疫 想ふに朝鮮の牛疫常在地に非ざることは一般周知の事實に係り從來發生したる牛疫は支那領より國境地方に傳播したるに止まれり、殊に近來總督府の嚴重なる防疫措置に依り今や殆んど牛疫皆無にして之を懼るゝは一片の杞憂に過ぎざる感あり、而かも他の檢疫港たる神戶下關等に在りては斯る制度を設けず北鮮牛と雖も將た支那牛と雖も活牛の儘自由に之を內地に搬出し得るに拘はらず獨り敦賀港に移入するものに限り屠殺せざれば他へ積出の自由を有せざりし如きは、恰も北鮮の生牛を恐るゝに非ずして敦賀港への移入を恐るゝと言ふ如き奇觀無きに非ず、兎に角かゝる關係と及び生牛取引業者の困難的妨害に由り敦賀港移入牛は其販賣上著しく不便不利を來たし、大和田氏の第一回移入も遂に大損失を醸すに至れり

▲横斷定期の價値 想ふに朝鮮牛を內地に移入して多少とも利益を收めんとするには食用と耕牛を併せ目的とせざるべからず今や內地一般耕牛の缺乏を訴へ其需要頗る盛んなるを以て今日に於て耕牛としての販賣は相當見込ありと雖も單に食用のみを目的とせんか、生產地に於ける購入上充分に其品種品質を選擇せざるべからざるのみならず氣候の關係需給の時期等に就ても愼重に考慮すべき要あるを以て、年中連續的に之を移入し難く且つ多數の移入を計らん事困難なる事情あり、隨つて航海回數も自然減少せざるを得ざるを以て他の雜貨旅客等の吸收覺束なく、伴れて運賃高價に上り結局貿易上の航路として何等價値を有せざるに至らん事を憂へられたり

大和田氏が這般の計畫たる生牛の移入は單に航路の開通を目的とする一手段に過ぎずして之に因り漸次貿易上の發展を期するものにして若し航路にして價値なきに終らば同氏多年の苦心は水泡に歸すると共に敦賀及び北鮮の蒙る打擊や實に鮮少ならざるものありしならん然るに當事者の熱心なる斡旋に由り既に往年大隈內閣當時臨時議會に於て敦賀に檢疫所設置の議可決せられ、續いて昨年八月活牛の搬出を許可せらるゝに至り日本海横斷航路の前途遼遠にして有望なるは已に言を俟たざる所、而かも北鮮の豐富なる物資畜牛は勿論林產に水產に內地の需要は多大なるべく、定期航路として開通の曉には大阪名古屋北陸方面の物資は競ふて鮮地へ移入さるべく、寧ろ航海回數の頻繁ならん事をのみ切望し居れり要するに今回朝郵の試航は當地有力者側に多大の囑望を以つて歡迎せられつゝあり

□釋宗演禪師より

九月には朝鮮經由北京へ
安藏、不必須山水滅却心頭火也熱老居士益御清寧に被爲在候事と察上候納多忙が御無音の御詫には不相成候得共春來絶わて御消息を伺はず只君子千里同風とのみ相信じ居り申候却說納今回或る大檀の贊助に依り兼ねての宿願たる支那大陸漫遊を決行可致事に相成り申候就ては九月鹿山開祖忌修行後早々朝鮮經由直に北京に向ひ申度考なり其節は京城の貴家に一泊久振りにて江湖の舊話を打し可申樂しみ居り申候一行は衲外隨行僧一人二條巖堂居士の積りに御座候
八月六日夕 松丘宗演

●砂防造林地手入 京城附近

[illegible]其の施行量を聞くに左の如し
▲三角山東部西國有林五千二百卅二貫手入本數一萬七千四百四十本▲[illegible]丘山國有林施與下草[illegible]

通信教授 採鑛冶金講習生募集 會員
見本附規則書入用の方は郵券二錢封入申込次第送附す
申込所忠南[illegible]青陽鑛山內 採鑛冶金講習會支部

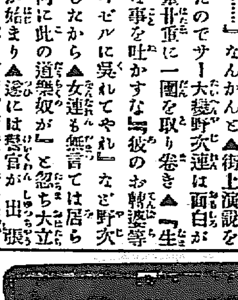
繪具と筆
西洋水彩 油畫 繪具 其他 刷筆 カンバス等各種販賣開業致候間不拘多少御用命奉希候
京城府並木町二四五山本兒朝事 彩霞堂

市場開業廣告
切日來糶場並に賣店建築中の處今回工事落成致候に就ては委托品販賣開始仕候間多少に拘らず御出荷被成下度敏速こ誠實こを旨こし懇過に取扱可申候間御愛顧御引立の程奉希上候
七月二十六日
平壤果菜市場 電話八一八番

會員募集
官公吏 就職 顧問 普通文官養成講義
新學期開始●入會の好機●奬學資金提供其他大特典あり●天下一品
會長男爵若王子文健氏●東京神田區西紅梅町六大日本普通文官[illegible]
六ヶ月速成 各種文官受驗の福音 立身出世の最も近道 規則 見本付キ 申込次第進呈

汽罐保護 燃料節減 商標 特許 清罐劑
◎罐石豫防 ◎蝕銹防制
製造發賣元 東京市京橋區木挽町三丁目 彌滿登商會 (電話京橋二〇一〇番)(振替二一〇八〇番)
理想的清罐劑を使用し燃料節減を計るは汽罐使用者の急務なり
(說明書御請求次第進呈)

不動産登記 申請用紙 販賣 見本添付 御照會乞ふ 郵券 即時 回答
京城明治町二 電話二二八九番 瀬川中央堂 振替二〇四五番


製圖器械類 製圖用附屬品
京城本町一丁目郵便局前 篠崎本店
電話六四八番 振替一五四番 同七〇五番

外交員至急募集 日鮮人五十名限り 月收四十圓以上確實
希望者は自筆履歷書携帶御來談要保證人
平壤府町中村旅館內 東京勸業株式會社員 山田迄

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城[illegible]

…財政難を處理す可く其信頼する梁啓超、曹汝霖の二氏をして特に借款成立の運動に奔走せしめたり即ち梁氏は時…て交通借款を成立せしめんと運動しつゝありたり然るに最近の消息によれば大借款の前渡しに就ては日…待ちつゝありとの理由の下に交渉を停止し居れり又交通借款に就ても主として日本側に申込み來り次に…に株鉄鐵道の布設工事を報酬として米人に請負はしむる條件にて米貨五百萬兩の借款を申込めるもの、如く…を以て目下の處双方共擔保に就て交渉行悩みの姿なりと又一説によれば支那政府は旬日内に宣戰の實行を爲…て兩國の誤解を受けるようにこれを見合す方針外交上得策なりと爲し支那側より手控せしものなりと支那中央…から寸是れ中央政府の宣戰を待たざる…せる所以なり(北京)

…回下期の雑草劑類を利用して林木の根元周圍に二百匁乃至三百匁を散き土砂を掩ひて枯死の防止を計れり

雲の峯　東大門外に於て

如何すれば顔が助かるか
敵も味方も只管平和を慕ふ
志賀重昂氏談

=昨年の今日頃より一個の新熟語が出來た=

…元山に於ける夏期講習會の題目に『世界現代地理』と『歐洲戰爭地理』なりとのことなれば歐洲大戰の今後に就き質問するや志賀氏曰く戰爭關係諸國毎人口一百(男五十、女五十)に付佛蘭西は十八人、墺匈帝國十七、獨逸十六、英吉利十四、露西亞伊太利各々十八人を出兵せし今日各國何れも

▽壯丁の種切　となり、況んや死傷一日間に二萬人宛を出すに於ておや、然れば敵と云はず味方と云はず只管平和に戀々たるは俺ふ可らざる事實なり、然りながら茲に一大難關は『如何にして聯合軍が顔を立てるや』てふ是なり、昨年の今日頃より一個の新熟語出來せり、ハツ、ツー、セーヴ、フエース(如何すれば顔が助かるか)と云ふ語である

▽即ち聯合軍　方十七國(歐洲九國、亞細亞の日本暹羅二國、北米五國、南米ボリビヤ)の顔を助くべき事さへ成就すれば平和來であるが、聯合軍が今日までに顔を助け居るは全く貴君等聯合軍方の新聞紙が『昨日は佛蘭西軍が勝つた、今日は英國のヘーグ將軍の公報が此く〳〵であつた』とか『獨逸の食料は今にも盡くる』とか囃し立て居るより

▽僅に面目を　維持するもの即ち顔を助け居るものにて、獨逸の占領せしもの北佛二一、〇〇〇方基、白耳義二九、〇〇〇方基、塞爾維八七、〇〇〇方基、黑山國一三、〇〇〇方基、羅馬尼一〇〇、〇〇〇方基、波蘭一八〇、〇〇〇方基(合計五三〇、〇〇〇方基即ち北朝鮮を除ける日本全帝國の面積)に對し佛の占領せるものアルサス一、〇〇〇方基、露の占領せしものブコビア及びガリシア二〇、〇〇〇方基(合計二一、〇〇〇方基(日本の四國島)り

▽數字に徴し　且つ目下サンカンタン南北の戰蹟に徴すれば聯合軍が明々確々に顔を助くべき機會は直ちに來るべきや否や全く不明に屬す、要するに西方戰場に於て聯合方が員成に決勝して(新聞紙上の所謂勝利に非ず)茲に顔が助かり茲に初めて講和すべし

(因みに志賀重昂氏は來る十七日午後五時十分再び南大門驛發同九時十分同驛發列車にて歸東すべしとなり)

惡外交員の處刑
懲役六月に不服

本籍岐阜縣安八郡杭瀬村秋元春樹(二)は元京城黄金町四丁目京城新聞社記者兼外交員として雇はれ中大正五年十一月八日忠南論山本町大和旅館事竹島こう方に投宿し同月十二日迄滯在し宿料十一圓九十錢を不拂ひの儘逃走し次は黄海道に赴き海州中町料理屋松立屋事津田はつ方にて五圓餘の遊興をなし之れも不拂ひにて倘同年十月中田内武と共に全北井邑水城里旅館松葉館事日高爲次方に宿泊し田内の寫眞機械一個を預り中横領して金十二圓に入質消費したる等にて檢擧され此の程京城地方法院にて懲役六箇月の判決を受けしが之を不服として京城覆審法院に控訴せり

全南荒しの九人組賊捕はる

去月十九日全南務安郡長山島大里金晟燁東植(三)方に數名の強盗押入千餘圓を强奪して逃走せる以來附近各所にて三件の強盗事件引續き行はれ木浦警察署に於ては之等の強盗犯人檢擧に努めたる結果何日を出でずして犯人九人中八人迄を捕縛するに至り僅に朴元圭(三五)一人を餘すのみにて元主も既に手配中にて間もなく逮捕さるべく捕縛せられたる賊は主謀者務安郡長山島大里金致浩(三)以下木浦北橋洞金兆海(九)務安郡竹橋里李準煥(四)長山島多水洞金斗中(三)同島飛所里金文三(四)木浦陽洞朴仁守(三)長興郡長興面敎陽里金來叔(三)長山島道昌里鄭弘寛(三)の八名にて目下嚴重取調べ中

内金剛通ひの自動車が出來た
平康驛から末輝里迄を七時間で

金剛山探勝客に最も便利な内金剛通ひの自動車が出來た、自動車は京元線の平康驛—龍山から七十四哩—から内金剛—ざつと京元線の中央—から内金剛の末輝里まで

▲陸路卅一里　程を七時間で突破することゝなつた、これを從來健脚家が二日乃至三日程で踏破した事に比べると探勝客には何よりの便利と云はねばならぬ、料金は全線六圓四五十錢、空車の旅客なき時と雖も途中の昌道里(平康から十五里)迄は隔日に通ふ、然し山から驛に出る客には内金剛の長安寺に電信なり

▲電話が架設　されてあるから假令一人の探勝客にても隨意に車を呼ぶことが能きる、この自動車によると從來元山から海路長箭に出て唯だ外金剛の謂ゆる嶺東ばかりを見た人も、これによれば充分内金剛の大雄觀を探ることが能きる、京城から行く人は朝の汽車では平康驛著が午過ぎとなるからなるべく午後の列車で平康まで行きその夜は同地に一泊して朝の自動車で出發するがよからう山からの歸りは午後福溪驛發の列車で都合よく間に合ふ、平康驛の自動車は隔日に出る、その第一日は去る八日の日に末輝里に向ひ好成績を收めた

身の破滅も酒
滿洲漂泊者の成れの果

元善通寺步兵第四十三聯隊軍曹香川縣三豐郡辻村黑川佐治郎は所屬師團が滿洲駐屯となりて來滿し滿期歸郷の後再び滿洲へ渡り手蔓を求めて都督府の巡査を拜命し明治四十五年三月營口警務署に在勤を命ぜられたるが除隊前より深く酒を嗜む様になりて警察官は到底勤まらず其年の十一月辭職し其後大連遼陽奉天に轉々として遞信夫工事監督或は店員等になりしも續かず最後に鐵嶺に流れ込み附屬地の酒屋藤本の店員となり酒の爲めに間もなく解雇され更に同地櫻町の福原某に傭はれて同人所有の砂金採掘所に往き復も屋を隔かれ其當時より酒毒は全身に廻り且つ氣管に故障を生じ同地西門外の支那宿に泊り日々二三の支那人等と共に砂金の鑛業を漁りつゝ金鑛王を夢見つゝありしが七月十日頃より下痢症に罹かり十日餘り支那宿に過す中僅かの物すら金に代へ其後同地三道街の支那宿に轉じて只管加養中不治の肺病に罹り居ることを發見し殊にアルコール中毒を十二分に受けゐる身の沖しも回復の見込なく其筋に申告し取調べの上行路病者として保護を受くる事となりたりと(奉天)

開幕前に滿員
サッポロ麥酒の海老一觀劇會

サッポロビールにては既報の如く目下壽座に開演中の喜劇海老一鐵五郎一座の觀劇會を九日午後七時より同座に於いて催したるが同座の内外は大日本麥酒會社の手によりて十分の裝飾が施され頗る景氣を添へたり然して本紙に無料入場券を刷込みサッポロビールの愛飲家を招待したる事とて開場一時間前より續々と詰めかけ開幕までに全く滿員となりたるがこれがため一座は開演時間を繰上げ曲藝數番を出したる位にて各幕毎に化…破るゝが如き好評を博したるが時間過ぎに來場せしため定員札止となりて入場し得ざりし向き多數ありしは遺憾なりし倘ほ同社にては二日目は京城の主なる取引先きその他の有志を三日目は花柳界の各置屋女將その他を招待し盛んなる觀劇會を催す由

樂毅論　夏侯泰初
世人以樂毅不時拔莒即墨爲劣是以叙而
(光明皇后御筆の樂毅論)

赤痢とチブス

京城永樂町二丁目七十一番地森川隆次(三)京城高等普通學校寄宿舍生徒富田聲歌(二)任所不定黄海道載寧生れの金周泳(二)は何れも七日赤痢と診斷又竹添町三丁目二百六十三番地安浩吉(五)積善洞十四番地戶江眞三(三)の兩名は八日同上、館松信洞六十九番地居住巡査補朱淑(二)は家族七人あり、腸窒扶斯の爲め八日死亡せり

猛獸に化けた賊

慶南晋州城北町吉林菊次郎方にては昨今度々猛獸の爲め家畜を殺さるゝより知己なる特別狩獵者小山某が八月一日夜附近に張込み中物音させて屋内を荒し廻るものあるより大喝一聲したるに曲者は猛獸にはあらで朝鮮人の賊なりしが手提金庫を開きたるも一物だに盜み取り得ず逃走したりと而して現場に懐中電燈一個を遺棄しあり目下犯人嚴探中

書道の話(上)
丹羽海鶴氏談

日下部鳴鶴翁の高足にして、第一流の書家である丹羽海鶴氏は朝鮮觀光の途次入京し目下京城ホテルに滯在中なるが書道の秘訣を語る所左の如し

(問)丸つきりの素人にして書道が成功し得ることが出來得るものにや承はり度し

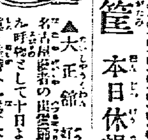
(答)ソレは習はうとする者の心掛次第では必ずしも不可能ではないと思ふ。故に能く良師に就て執筆、用筆、結字の三要を習ひ正しき法帖、碑板に就て熱心に練習すれば割合に早く書道を解して、貴下の問はるゝ如く人中で揮毫しても恥かしからざる腕前になる事が出來るのである。

(問)然らば如何なる法帖に據るが宜しかるべきや

(答)それは各自の好き嫌があるから一概には云へないが、私の意見では王羲之の筆法を會得して之を熱心に研究したら宜からうと思ふ。

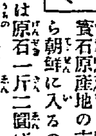
(問)夫れは何故にや

(答)王羲之の書は各體共に種々の變化があつて書道の妙境に達し其の妙諦を得るは王羲之の書に若くはないと思ふ。人も知る如く、王羲之は後人より書聖と仰がれたのである、楷書で名高きものは樂毅論、黄庭經、東方朔畫讃等を書いたものであるが惜しい事には多く覆刻と云つて眞物の拔を起し、それを刷つたもので又た板を起すといふ工合で、段々轉々して覆刻する間に眞の筆意を崩して了つてゐるから書の眞意を窺ふことの出來ぬのは實に殘念である。幸ひ我が朝には光明皇后の御書きになつたといふ樂毅論が傳はつてゐるが是れは日本に現存せる楷書中の第一位に推すべきものである。それは取りも直さず王羲之の筆意の幾分を窺ふことが出來ると思ふから先づ之を順序と思ひます。(とて光明皇后御筆の樂毅論を示されたる所、寫眞の如くであるが、一寸見れば何處に好い所があるか記者の如き素人には殆ど解し難いので頻に聞くと、曰く)この書の眞價が本當に解る様にならなくつては、共に書を語るに足らぬ之は眞の書道を解したものにして初めて判る事が出來る。



小説　花筐　本日休掲

▲大正館　好評の新派悲劇想夫憐全六卷▲舊劇怪御殿全三卷▲滑稽活劇チャプリン駈落全二卷に名古屋藝者の出雲踊の餘興を呼物として十日より新館…すべくその主なるものは左の如し▲西川一派名古屋藝妓出雲踊所作事吉野山、三ツ面引拔き手踊ござう拘ひ木曾ぶし



灯ともし頃

このごろ翡翠の流行はすばらしいもので實石原産地の支那から朝鮮に入るのも彩しい▲賑いのは原石一斤二圓ばかりのがあるが上物は一萬圓からする▲翡翠と硬度も同じで色の稍や黑い實石で琅玕といふのも同様に珍重されるが産地は支那の南方だといふと▲李王職美術品製作所の矢上さんはいつも朝鮮の古美術品が貴いことを話す▲殊に高麗時代の紋様などに至つては實に見てゐて涎の垂れさうなものがあるとのはなし▲花瓶などは主に支那の周漢時代の型を貧つてゐるがあの時代三千年もむかしの古雅な型が何百種とあるのは驚いたものぢや▲序に此の青銅に現れた朱銅の色を見て下さいこれは鑢にかけた鉛肌を燒いて酸化したものぢやが却々風韻がある▲朱銅について面白いことには先日ある米國人が來て頻りに陳列棚をのぞくからこれも金ピカ流先生かと高を括してゐると相手はなか〳〵眼が高く朱銅のものばかりを買占めて行つた▲すると今度は内地人の客が來て『部屋の飾りは矢張青銅に限る……』との仰せ▲コリヤア却々話せる哩と思ふと『此の朱銅は汚ならしくて不可ん』には恐れ入つた▲その他折角の鑢肌を見せようとすれば鑢かけの方を悦んだりけなしたりイヤ種々なお客が見えます……との笑ひばなしであつた

一松丸太外二種右購買ス詳細ハ八月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

新築落成に付(西部の筋向へ)來る八月十一日より移轉開業す ▲向ふ一ヶ月間大割引 京城黄金町二(電話一四三四) 高等寫眞館

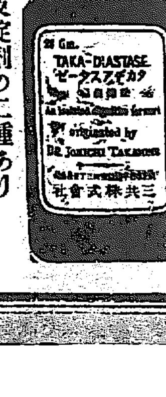
京日案内　普通五十錢(一回分金)　番外一圓(一回分金)(記名一圓に拾錢増し)
▲申込は前金の事▲六圓以上の御申込は特に割引▲御照會の節は必ず番號を御記入を乞ふ

普通
湯屋を讓たし　御望方は左記へ　龍山電話四一一番へ　(三〇)
日鮮人外務員募集　大田本町一丁目二　日華生大田監督所　404
生後四ヶ月の男子乳有方へ預けたし御希望の方は面談又は御報を願ふ　黄金町三の三〇三　平力蔵　390

番外
外交員二名募集但廣告募集に經驗ある人に限る　本町ウツボヤ書店滿鮮滿旅行案内社
外交員募集　廿五歳以上勤倹力行の士　夜間本人來談あれ　本町三丁目靜岡舘前　國獎武長産會　393
藥劑士招聘　自筆の履歴書携帶午後七時後本人來談ありたし　京城大和町一丁目四十八番地安藤　399

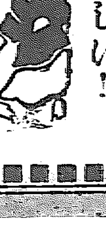
店員入用　三十歳前後にして市内に確實なる保證人あるもの　南大門通三丁目　松原筆墨商店　405
湯屋讓渡　委細は御來談を乞ふ　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番　407
內科・小兒科　京城明治町　女醫　川崎朋子　電話一五〇四番　406
移轉　小兒科內科　呼吸器胃腸病　南大門通農工銀行前　電話一四六二番　若槻醫院　408
店員入用　十五六歳の者數名　本町　龜屋商店　396
代診生採用　希望者は自筆履歴書携帶本人來談　京城明治町二の七七　電三七八　中島醫院　398
恩給年金立替　短期無保險　即時取引　利子極安　京城若草町一一七(金光教裏手)　電話三三九一番　國江商會　403
恩給年金立替　一月利一分　分でも特別御便利に御相談可致候　京城若草町一百六　電話三〇一番　西村商會　303
はねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　342
京城春川間自働車　乘合賃金片道四圓　京城發前八時　春川發前八時　京城水標橋通り　電話二一三八番　京春自働車商會　松田壽男　360
鑛物定量分析　本町一丁目　明治町二ノ七六(電話二七七一番)　江戸川横入　田部分析所　314

タカヂアスターゼ
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國産品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ
本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらるゝ爲に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す
東京室町　三共株式會社



活動寫眞　一、新派悲劇　相夫憐　全六卷　一、舊劇　怪御殿　全三卷　一、滑稽活劇　チヤプリンの駈落　全二卷
中券番　秀奴、太郎、桃太郎、十郎、若市、三太、その
新券番　玉菊、國之助、忠信、伊達子、かよ、福助
京城券　若吉、八千代、お多福、米吉、翠次
觀覧料　三等三十錢　二等六十錢　一等一圓　小人各等半額
十日より開演　大正館

珍らしい！美しい！涼しい！
空前の珍興行　納涼の親玉
西川一派名古屋藝妓數名出演
天下一品　出雲踊　賃演餘興
◇あやめ浴衣◇さんつく◇ござう拘ひ◇木曾ぶし
所作事、吉野山、三つ面、靭猿
地方は當地三券番藝妓毎日五名交代出演



暑中御見舞
先日より名儀變更の爲め一時休業致居候處本日より營業仕候間舊に倍し御引立の程奉願候
大正六年八月七日
會席御料理　海川魚　すつぽん　鳥水たき
京城旭町一丁目　電話一〇四六番　權平庵事　中井ゆく

小説『叫び』

秦瞬星

（記者曰く）本篇の作者秦瞬星君は早稲田大學出身の秀才で今は京城の自宅に歸臥してゐる、在學中露語を學び露西亞文學の研究に沒頭した人『叫び』の一篇は實に其の副産物である、新人青年の手に成ったものとしては一寸珍らしい。

廊ガラスの様な靜かな冬の空に、ボンヤリと座睡をしてゐた薄日が暮れると選った、白い、息も詰りさうな霧が町を鎖して了った。家も木も電柱も皆包まれて了って、たゞ軒燈と停留場の赤い電燈の光りが深い霧を通して危ふく覗へてゐるのみであった。町にはあまり人出もなく、銀鈴の様な電車は影消しく鈴を鳴らしながら一日の最後に走って往った。偶に道ゆく人は、その不快な氣體を吸ふのが嫌だといふやうに息を堪へて小走りに走って往った。それが暗い霧の中から何か白い物が閃くかまたは音でもすると、何か恐ろしい物が出て來て、不意に自分の顔を打つかの様に思はれるやうであった。そして急ぐ足を止めて、耐へてゐた息を一時にフートー吹き出しながら用心深く、泳ぐ様な手付きをして暗い闇を探っていった。

健三は古びた、感じの惡い下宿の四疊半の間で、薄暗い、赤い電線を凝然見詰めてゐた。障子の腰ガラスを通して深い霧の包圍は力強く取圍んでゐるのが感ぜられた。健三はそのイヤな陰鬱な霧が恐ろしい睨服力を持って室全體を縮少させ、了ひにはその腰ガラスを通して室の中まで闖入して、自分の弱い身體を身動きも出來ないほど固く包みしめるやうな氣がした。

その深い霧の包圍を破って、時々下から痛ましい女の呻きが聽へた。その度健三は目を閉て顔を蹙めた。それは下宿の女將の呻きであった。彼女は腹膜に罹て六月の間、病床に苦んでゐたが彼女の病態は日に〳〵惡くなるばかりで、昨日からは幾度も昏睡状態に陷った。健三が先刻見舞に降りて往った時、總入齒を外した窪んだ頬の上には顴骨が凄く突き出て、まるで白骨のやうな形ばかりの顔をした若い女が鋭い眼を無意識にキョロ〳〵させながら乾き切った唇になけなしのネバ〳〵した濃い唾を溜してゐるのを見た。彼女は少さい娘の手を取らうと焦ってゐたが腕が痙攣れて自由がきかなかった。そして何か言ひたげに口をモグ〳〵してゐたが舌もう固くなってハッキリ物が言なかった。彼女は止度もなく涙を流しながら、やっと途切れ途切れに、『おとなしくしておいでよ』といったゞけで直ぐまた正氣を失って了った。その時家の者は周章てゝ醫者を呼んで來た。醫者はカバンの中から注射器を取り出して彼女の腕に刺した。女將はやっと正氣付いたけれども醫者は側の者に小さな聲で、『今晩一杯は難かしいでせう。』といふのを健三は聽いた。健三は實に悲惨だと思った。

今彼女の呻が夜と霧の閉みを破って健三の耳に聽へる度に、彼は醫者の言った『今晩一杯は難かしいでせう。』といふ語が思ひ出されて『あゝいよ〳〵か！』と、つぶやきながら今死にゆく人間の淋しい生涯に就いて色々な考へた。

霧の夜は重く、靜かであった……梯子の音がした。誰か梯子の段を上り切ったかと思ふと、隣りもなくスーッと障子を開けて、脊の高い、そして青白い顔をした男が入って來た。

『ヤー、森君か？』と、健三は迎へた。

『ウム、暫らくだったね』と、彼は沈靜な聲で答へた。彼は健三の差出した座ブトンの上に重さうにドカリと坐って何にも言はずに頭を垂れてゐた。何だかひどくものに沈んでゐる様子であった。健三は炭を注ぎながら、

『今晩は甚い霧だね。』と云った。森は短かい間を措いて、

『さうだね。』と興味のない返事をしたきり二人の間には暫らく沈默が續いた。二人の視線は同じくパチ〳〵はねる炭の火花の上に集った。元々この二人の交際は極く脱俗したもので久し振りに逢っても世俗的の長い挨拶もなく『ヤー』といふ一聲で濟むのであった。そして別に世間話をするのでもなく、何時も思想上の事を語り合って疲勞を感じる頃には思ひ合せたやうな長い沈默があった、そして其儘別れるのが常であった。しかし今日は始めから何だか氣まづい沈默であった。何となく淋しかった。健三は火箸で灰の上に字を書いては消し、消しては書きした。森は何時までも頭を垂れて、手を炙りながら時々深い溜息を吐いた。健三は悶のある聲で、

『森君、君に何か變った事でもあるんぢやないか？』

森は相變らず何とも返事をしなかった。かういふ悲しい沈默が暫らく續いた。暫らく經って森は悲しさうな眼を上げてジーッと健三を眞正面に見詰めてゐたが、苦しさうに、

『僕と八重さんとの戀は駄目になったよ。』

『それは何うして？』と、健三は聊か驚いて眼を睜った。

『君も知ってゐる通り吉田君を二人の間の鍵だとばかり思ひ込んで、全くあの人間を信じきってゐたのぢやないか。それがね、君、絹ごころぢやない、吉田は僕を……僕を賣って……。』

森は稍々興奮してゐたが暫らく經って、

『ウム、しかし僕は彼等を恨みはしない……』

元の沈默は二人を敵ひ被して了った。二人は淋しい氣分に囚はれて長い間頭を垂れてゐた。やがて森は歸った。健三は別に彼を止やうともしなかった。たゞ香そな、眞赤に燃へてゐる炭火を見詰めて何時までも身動ぎもしなかった。

遠いステーションから選った汽笛が悲しさうに長く嘯った……

『電報！』といふ鋭い聲が聽へた。それから直ぐ荊口さうな女中がどん〳〵と如何にも顛れ切ったやうに早足で上って來て、

『五郡様、電報で御座います。』と、眼をキョト〳〵させながら健三に電報を渡した。健三は電報を受取った瞬間彼にはある大きな恐怖が嵐の様に襲って來ることを豫覺した。そして手を慄はせながら急いで封を切った。電報には、

（サクヤ一〇ジクロッシス、ヤマムラ）と書いてあった。

山村九郎といふのは健三の竹馬の友で殊に親しい同志であった。今健三は自分の親友の死の報告を見て、それが何うしても本當とは信じられなかった。そしてその簡單な電文を幾度も〳〵繰返して讀んだ。しかし電文には正しく彼の友人の死が書いてあった。彼はその電報を握ったまゝ、凝然空を見詰めてゐたが急に電報を机の上に投げた。そして兩手を組んで枕にして仰向けに臥た……。

山村が死んだ！彼の短かい苦しい生涯は二十二歳を一期として了ったのだ。何の樂しみも、何の光りもない彼の單調な淋しい生活は跡形もなく消れて了ったのだ。長い沈默から出て來て、弱い斷かな聲を一聲叫んだ。しかしまた長い沈默はその聲を呑んで了ったのだ。彼は眞の闇から現はれて一寸閃いた。しかし眞の闇は又その閃きを包み隱して了ったのだ。そしてその沈默はいくら敵いても一向反響がないのだ。沈默は相變らず永く續いてゐる。一度呑んで了った聲を再び吐き出しはしないのだ。闇はいくら掻いても何の摑み手がないのだ。何處までも〳〵暗い闇なのだ。一度包みしめた閃きを又決して出しはしないのだ。山村はその沈默、その闇の中へ呑まれて了ったのだ。私も間もない内にその果しのない恐ろしい闇の中へ消れて了ふのだらう！冷たい、氷の様に冷たい沈默に呑まれて了ふのだらう……そしてまた皆も!! これが人間の逃れる事の出來ない運命なのだ。

短かい閃きと斷かな叫び！これは何のためだらうか？囁み合ひ、騒ぎ合ふための閃きと叫びだらうか？傷つた戀の繋ひ合ひのための閃きを叫びだらうか!!

あゝ、短かい人生！を貴い閃きと叫びとを……

健三の顔は死人の様に蒼白くなった。

突然闇を裂く様な鋭い女の聲がした。

『アー、泥棒が家の物を盗んで……水道橋の方へ逃げて往くよ。』

この痛ましい聲の後には夜は元の通りに靜まり返って、自分の沈默を固く守ってゐた。それは下の女將の囈語であった。健三はブル、と身慄ひをした。

『あゝ、これが彼女の叫びか！この叫びが彼女のライフを象徴したものか!! 人間の……』

夜の空氣は冷かった。軒の雫は思ひ出した様にポタリポタリと落ちた。健三の眼からは熱い泪が泉の様に溢れた。

霧の夜は重く靜かに段々更けて往った。何處かのお寺の鐘が何かを意味するやうに遠くで響いた……（終）

西洋料理 アイスクリーム おいしい京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

新刊紹介

▲日の丸（九月號）子供の見る綺麗なる繪草紙あり附録に母のページあり（一部九錢、東京澁谷東エビス文敎社）

▲英語の日本（一ノ三）（一部十二錢、東京神田表神保町三建文館）

▲實業法律（八〇）一部六錢、東京麹町伊尾井町三共社

▲相談之友（二ノ一八）一部五錢、東京神田三崎町三ノ一相談之友社

▲遊陽實業會々報（二九）一部五錢、遊陽東洋街九共會

▲朝鮮貿易月表（大正六年六月）朝鮮總督府

▲演藝畫報 七月興行の東京の各座の寫眞は素より京阪神横濱その他主なる都市の劇場にかける大名題俳優の寫眞は悉く網羅しあり現代名優評傳は本號は市川八百藏にしてその他芝居見たまゝ、樂屋訪問記例によって面白し（定價一冊三十八錢東京京橋南佐柄木町演藝畫報社）

▲禪學質疑解答（原田祖岳氏著）誰しも迷って見たきは禪家の公案なるが、此の書には手に取る如く祕訣の方法を詳述せり全くの素人にても此の書に據らば禪の妙味を解し妙諦の域に達るを得べし（一冊一圓十錢、東京小石川原町五丙午出版社）

▲集萃時報（一）内外の新聞雜誌を涉獵して社會百般の出來事及論說を系統的に整理按排せるものなり（一部卅五錢、東京築地明石町三一集萃社）

▲安價生活の實驗（家政調査會編）朝鮮銀行で下級行員に二割五分の增給を決行したとて喜む勿れ、此の書に據って眞に家計を始末せば金の湧ろ靈訴台なり、下編に月收十七圓二十圓、二十二圓、二十五圓、二十六圓の安價生活指針あり、之に據らば家族四人暮しなる二十圓の官吏が月に三圓近くの貯金をなし得る祕訣あり而かも家賃を拂ひたる上酒代、新聞代購讀料金、義務費まで樂に出るといふに至っては全く浮び様次第でドッでもなると、おのづから讀者を首肯せしむるものあり（七十錢、東京牛込神樂町一ノ一東亞堂書房）

小説 花かたみ 都合により本日休載

商況

下關切米相場

大阪期米相場

安値 二〇三一 二〇五九 / 止め 二〇七四 二一一九 / 二〇七二 二一二〇

▲一二圓六十五錢安寄五十二錢と安入電に接したる〔より〕反發買され八圓九十五錢と押したるも押目は依然買物にて九圓臺に戻れ返したる新甫大阪一變九圓臺に上伸したるが引際に至って大阪止め九十三錢 大阪電報〔…〕受けて底の頭田となり新規買物多く〔…〕

▲形勢一變乎 同店の買三千餘石賣六千餘石 前日來軟調の態面なりしが今朝に至って大阪の火入殺到を受けて底強く九圓臺に復活したるが引け際は〔…〕六錢上伸し市〔…〕

後場 寄付 十八圓九十九錢 / 十九圓十六錢 / 十九圓〔…〕錢 九月限 八月限 二萬五千五百五十石 二萬七千百石

主間の畜牛利用の觀念 妙き關係は因る事勿論にして現在管内に於ける一町歩以上所有地主は〔…〕

自動車運轉手 自動車學校 東京市京橋區南紺屋町 私立

香り床しき 美髪となる 金鈴香木 金鈴香油

高木與兵衛 東京 清快丸 懐中藥

最新刊
●朝鮮警察用語 五五
●現行法令朝鮮追錄 七〇
●朝鮮四千年史特 三、五〇
●兒童道德 二、八〇
●犯罪教育學 一、七〇
●お話の實際 一、六〇
●化學工業講話 一、六〇
鎌田豊講評定價 八五
天然生活法 五五
●細珍朝鮮行政警察 六五
●投入と盛花の秘訣 六〇
●波のまに〳〵 一、二〇
●涙香傑作集 一、二〇
●世界偉人逸話集 一、二〇
●學者町學生町 六五
●日本道中記 八五
●北歐旅日記 七〇
●キモノお伽噺 九〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

萬病感應丸 日まい 立くらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥 登録商標 大阪 本舗 正野法橋玄三 江州 販賣店は全國有名各藥店

何れの家庭にも常備の救急藥 赤十字印 安川コロダイン 効力非凡なるは一般に定評あり 本舗 東京市日本橋區上槇町 安川晃榮堂本店 定價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院 にせ物あり 大阪有田ドラッグ商會 京城 南大門通 ドラッグ商會

内科 小兒科 婦人科 眼科 京城南山町二ノ四六 二元堂醫院 電話一壹二四番 小山亨

朝鮮人參製 精力を盛し腦力を強る靈藥 ホシ人參劑 製 種類 ホシ人參丸 廿錢 五十錢 一圓 二圓 / ホシ人參錠 五十錢 一圓 / ホシ人參末 五十錢 一圓 三圓 五圓 / ホシ人參エキス 五十錢 一圓 三圓 五圓 / ホシ人參葡萄酒 一圓 主効 神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、腎臟炎等に効あり 京橋南傳馬町三丁目 星製藥株式會社

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 同 龍山出張所 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

猿印 月虎印 のみとり粉 南京虫、蚤、虱、油虫、蟻、蚊等全滅保證 滅蚊線香 帝國醫科大學卓効證明 内外國博覽會賞牌受領 製造所 紀州有田郡山田原 大阪順慶町二丁目 上山静藏鑑製 INSECT POWDER

汽船釜山出帆廣告 大池回漕部
日本郵船仁川出帆 仁川代理店 野口商會
共同汽船仁川出帆 第廿共同丸
金泉間自動車時間 金泉鐵道自動車支部
寫眞 京城日報社寫眞製版部
懷中時計 新荷著 インゲレッシー商會 京城本町二丁目 電話九七二番
模範 牛乳 ニッソ 石鹸 洗粉 東亞牧場